

APPROACH

2018アプローチ

KOBE No.47 2018.1.31

特別企画 建築ストックの活かし方

- ・兵庫津の地域資源とものづくりのコミュニティ
- ・学生案で実現した量産型鉄骨住宅のリノベーション
- ・保存・再生・活用を考える



APPROACH No.47

(一社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部

巻頭挨拶	新年のご挨拶	神戸支部長	柏本 保	1
	新年に寄せて	神戸市長	久元 喜造	2
	新年のご挨拶	神戸市住宅都市局 建築指導担当局長	浜田 有司	3
	新年のご挨拶	神戸市住宅都市局 住宅担当局長	三木 太志	4
	新年のご挨拶	神戸市住宅都市局 建築技術部長	井垣 昭人	5
	新年のご挨拶	神戸市住宅都市局 建築指導部耐震推進課長	中島 和也	6
	新年のご挨拶	一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社住環境再生部長	根岸 芳之	7
〈特別企画〉				
	兵庫津の地域資源と「ものづくりのコミュニティ」	ウズラボ 大阪市立大学 准教授	竹内 正明 小池志保子	8
	学生案で実現した量産型鉄骨住宅のリノベーション	神戸芸術工科大学 環境デザイン学科 神戸芸術工科大学 環境デザイン学科	花田 佳明 川北 健雄	14
	保存 再生 活用を考える	華頂大学 教授 設計事務所 建築計画寶谷	川島 智生 寶谷 勝馬	22
事業報告	定時総会・講習会・研修見学会			26
活動報告	「住まいの安全・安心 未来展」		事業部	32
	神戸市立いぶき明生支援学校見学会		特別事業渉外部	34
	「神戸ポートオアシス」見学研修会		研修部	37
	神戸市すまいの耐震キャンペーン オープニングイベント		事業部	40
	(一社)愛媛県建築士事務所協会との研修交流会		事業部	42
	一泊研修旅行 in 金沢・能登へ名建築と街並み巡り	スペースプロ級建築士事務所	岡田 俊彦	43
	インスペクション普及啓発セミナー		研修部	46
	神戸市公共建物設計に関する意見交換会		総務部	47
	第198回 合同ゴルフコンペ開催	阪神支部幹事	原田 敏文	48
	第34回 親睦ボウリング大会		厚生部	49
	カメラ講習会		広報部	50
同好会だより	KJ会(ゴルフ同好会)			51
	KM会(麻雀同好会)			51
	トレッキング同好会			52
〈建築士事務所キャンペーン〉				
	第24回 なた桜まつり	灘区地区別連絡協議会	成瀬 秀一	58
	第21回 灘ふれあい秋まつり住宅相談会	灘区地区別連絡協議会	成瀬 秀一	59
	平成29年度 建築士事務所キャンペーンを終えて	副支部長	藤澤 利行	62
新入会員紹介				64
作品紹介				66
ちょっとひと休み	レポートマンション大規模修繕工事	関西塗研工業㈱	藤田 秀人	75
	M L B 観戦	関西塗研工業㈱	藤田 秀人	76
	11月の秋田	賛助会員 三和シャッター工業㈱	谷本 修	77
会員の広場	フィレンツェ物語(イタリア・スペインの旅)	㈱アーキノヴァ設計工房 代表取締役	柏本 保	78
第4回 フォトコンテスト				83
協賛広告				89
編集後記				96

本誌の掲載文は、執筆者が個人の責任において自由に書く建前をとっております。
掲載文の文責は執筆者本人にあります。

表紙デザイン 大和船舶土地一級建築事務所
表紙写真撮影 梅田彩華写真事務所



新年のご挨拶

神戸支部長 柏 本 保

新年明けましておめでとうございます。

神戸支部会員並びに賛助会員の皆様には、平素より支部の活動にご支援賜りまして心から感謝申し上げます。

平成28年4月28日開催の第57回定時総会におきまして2期目の神戸支部長を拝命いたしましてから1年10ヶ月が経過し、無事2期4年を終えようとしております。これも県下最大の支部を支えるために尽力頂いた3人の副支部長はじめ、幹事の皆様、正会員、賛助会員の皆様の支えによるものと改めまして感謝申しあげます。

さて、今年度も春・夏の2回の“灘桜祭り”への参加、5年連続の板宿商店街での“建築士事務所キャンペーン”をはじめ、金沢・輪島への一泊二日の研修旅行、4回に分けた“六甲縦走コース”の残り2回のトレッキング、生き生き下町協議会への参加、KJ会、KM会、会報誌『アプローチ』の発行と順次精力的に事業を消化してまいりました。

また、兵庫県警本部から捜査協力のあった“悪徳リフォーム問題”に関し、詐欺まがいの業者を撲滅するには一般市民への啓発が必要であるため、神戸支部と合同キャンペーンすることを一昨年提案させていただき、昨年2年目の兵庫県警本部との合同キャンペーンとなり、一定の成果を生むことができました。

第7回目のトレッキングは昨年11月に“六甲縦断コース”の最終章として六甲山頂を經由して宝塚終点までの約15kmを走破しましたが、女性7名を含め他支部を含む参加者18名が脱落者なく無事ゴールいたしました。私は神戸マラソン完走後、3日目のトレッキング参加となり、筋肉痛と

の格闘となりました。

さらに一昨年の愛媛県今治市への一泊二日の研修旅行時に(一社)愛媛県建築士事務所協会との交流会を開催しましたが、その“愛媛会”が、昨年9月に神戸市へ一泊二日の研修旅行に來られ、その際神戸支部より私を含め6名が懇親会に参加し、おおいに交流を深めることができました。

また29年度は神戸市との2度に渡る『公共建物の設計に係る懇談会』を開催し、地元の設計事務所の育成や、神戸市の設計の発注の在り方等に関し神戸市建築系幹部の皆様と大いに論議いたしました。今後の設計業務の受注に関し、積算の勉強会をはじめ、受注機会の増大を含め改善を求めることを引き続き行っていきたく思っております。

我が神戸支部におきましても高齢化した執行部を若手の正会員にいかにもスムーズに引き継ぐことができるかに関し、検証する必要が生じてきました。個人負担が増大する総務部、会計部の負担を軽減するためには事務局の設置等も視野に入れなければなりません。そのためには支部会費の値上げ等の問題も発生いたします。それらの諸問題に関し今後活発に論議していく必要があります。

このように懸案事項を抱えておりますが、引き続き建築を通じて地域への社会貢献し、一般市民の方々へ設計事務所の職能を認知していただくための努力を惜しまないよう尽力する所存でありますので、今後も神戸市の皆様、正会員、賛助会員の皆様の神戸支部へのご指導、ご協力をお願いいたしまして、私の年初めのご挨拶とさせていただきます。



新年に寄せて

神戸市長 久元 喜造

新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様には、日ごろから市政に対し格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年秋の市長選挙におきまして、市民の皆様からご信任を賜り、2期目の市政を担わせていただくこととなりました。私に課せられた責任の重さを常に胸に抱きながら、市民の負託に応えるべく、職責を全うしてまいります。

少子・超高齢化が進み、本格的な人口減少社会を迎えた今日、市民の皆様が、いつまでも安心して暮らすことができる神戸を築くためには、地域経済やコミュニティの担い手となる若者たちに選ばれる魅力的な「まち」、世代を問わず、どなたにとっても暮らしやすい「まち」となることが重要です。

そのため、神戸市では、若い世代の方々が安心して子育てができるよう、妊娠・出産・子育てのそれぞれのニーズに応じた切れ目ない支援や教育環境の充実、多様で魅力的な仕事づくりに引き続き取り組むとともに、あらゆる分野の施策を総合的にバランスよく推し進め、魅力的なまちづくりに取り組んでまいります。

さらに、神戸経済、ひいては関西経済全体の発展に資する見地から、大阪湾岸道路西伸部の整備や神戸空港のコンセッション事業開始に伴う関西3空港の一体運用や神戸空港へのアクセス機能強化など、陸海空の広域交通ネットワークの強化を進めるとともに、都心部の再整備を進めてまいります。

今後も、時代の変化や要請を的確にとらえ、必要な政策に積極果敢に挑戦し、次世代の子供たちに素晴らしい神戸のまちを引き継いでいけるよう全力をつくしてまいります。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様におかれましても、引き続き市政へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、平成30年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことをお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市住宅都市局

建建築指導担当局長 浜田 有司

あけましておめでとうございます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆さまには、日頃より神戸市の建築指導行政に格別のご理解とご協力をたまわり、厚く御礼申し上げます。

建設業界がデータ等の偽装問題で揺れたのはまだ記憶に新しいところですが、昨年はさまざまな業種で偽装やデータ改ざんが取りざたされた年でした。特にいわゆる裾野が広い技術系の分野における偽装問題は、関連産業への拡がりも大きく、日本のものづくりの信頼性まで揺るがすような事態となったのではないかととも言われております。

現場を軽視して机上だけでの形式的なつじつま合わせ、あるいは逆に決められた基準や手順を軽視して現場の判断を優先させてしまったがゆえの間違い、いずれの場合も、計画・設計から施工にいたるまでたくさんの過程と多くの人手を経る建築物に携わる私たちにとっても対岸の火事とは思えない事件だったのではないのでしょうか。

神戸市では、今年「第5次神戸市建築物安全安心実施計画」の策定に取り組んでいきます。現在進捗中の第4次計画では、「適法な建築物が違反建築物化しないよう予防するための事前対策」や「危険性の高い建築物や累積する違反建築物に対する重点的な検査・指導」を重点課題として取り組んでおりますが、特に、法令遵守の形式的な

チェックや、現場の実態を踏まえない一律的な指導ではなく、実際の建築物をいかにすれば適法で安全性の高い状態に保てるかという実効性のある対策にできるかぎり努めてきたつもりです。

いま、第5次計画に向けて、現計画の検証と評価を進めております。特に計画として掲げた項目の実効性に着目しており、定期報告の実効性のチェックあるいは建築確認および中間・完了検査の実施状況などは、建築士の皆さまのご意見やご提案によってさらに改善を図っていけるのではないかと思いますので、今後ともご協力を賜りますよう、この場を借りましてお願い申し上げます。

また、計画の中では、本市が近年特に力を入れて取り組んでいる「老朽危険空家対策」や「既存建築物の耐震化促進策」も掲げております。人口減少社会を迎え、“家余り現象”も顕著になってきたことから、年々増加する老朽危険空家や、古くて安全面で支障があっても放置されている既存不適格建築は、新たな都市問題として今後ますますクローズアップされていくものと考えております。

これからも、本市の建築指導行政に皆さまのご尽力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市住宅都市局

住宅担当局長 三木太志

謹んで、新年のお慶びを申し上げます。

日ごろは、神戸支部会員の皆様には、神戸市の住宅行政の推進にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、神戸市内には、5万戸を超える市営住宅があり、神戸市民の住宅セーフティネットの中核としての役割を担っております。市民の皆様安心して暮らしていただけるよう、平成23年度から32年度を計画期間とした「第2次市営住宅マネジメント計画」を策定し、更新・改修時期を迎える大量の市営住宅の改善と活用を図るための整備を進めています。

計画では平成32年度までに市営住宅における耐震化率を100%にする目標を定め、耐震改修工事を行い、平成28年度末時点で耐震化率は約87%となっております。計画の推進にあたっては、耐震改修を始め、大規模な計画修繕、建替え、廃止等、多様な対応を行うこととなりますが、これらのいずれの手法を採るにいたしましても、適切な設計・工事監理が重要であることはもちろんです。これまでも、神戸支部会員の皆様には、多くの市営住宅の多様な工事に関して設計・工事監理にご協力をいただいていることに、改めましてお礼申し上げます。

また、市民の安全安心な住まいづくりに向け、支部活動を長きにわたり継続され積み重ねてこられたことに深く敬意を表します。今後も、建築士事務所の果たす役割は非常に大きく、また、耐震補強の推進、マンションの適切な維持管理や大規模修繕の実施、リノベーションによる中古住宅の流通促進等といった、多様化する時代の要請にこたえていくためにも、精力的で、かつ市民に身近で開かれた支部を目指した活動に、一層取り組まれますことを心からご期待申し上げます。

最後になりましたが、本年が、皆様にとりましてますますのご発展の年になりますよう祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市住宅都市局

建築技術部長 井垣 昭人

新年明けましておめでとうございます。兵庫県建築士事務所協会神戸支部並びに会員の皆様方には、日頃より本市の営繕行政の推進にあたり、格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年4月、建築技術部では約30年ぶりに新しい部署を設立しました。部内で4つ目の課となる「保全課」は老朽化が進む市有建築物における落下事故等の事故リスクを減らし、市民や施設利用者の安全を確保することを目的としています。保全課では、築10年を超える庁舎等一般施設（約1,300施設）を対象に「施設保全パトロール」を3年間で実施してまいりますが、このパトロールで見つけた、事故につながるおそれのある不具合箇所の補修を行うとともに、施設の保全状況等を今後の計画保全に役立てるために台帳として整備してまいります。

また、施設の維持保全には、管理者による日常点検と専門家による定期点検が重要であることから、市有建築物における建築基準法第12条の定期点検を確実に実施するため、標準仕様書の作成や講習会の開催等、庁内の施設管理部局に対しての技術支援も行っております。施設の老朽化により様々な不具合が発生し、その予見や対策も複雑になってまいりますが、建築技術部は市有建築物の保全に全力で取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

また近年は、公共建築物への木材利用について、平成22年10月に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行されたことを背景に、国でも省庁横断的な取り組みが進んでおります。本市におきましても、この法律に基づき、平成28年3月に「神戸市の公共建築物における木材利用促進に関する方針」を定め公表しているところです。市の公共建築物の整備において、木材の利用を促進することで、市民に健康的で温もりのある快適な空間を提供することだけでなく、森林の有する機能を持続的に発揮させることへの効果等も期待されています。この方針に鑑み、構造の木造化、内装の木質化に取り組み、特に、内装材の木質化を前提とすることを設計の基本理念として、業務を遂行してまいります。

今後も、CLT等木材利用技術の進展に注目しつつ、様々な木材活用事例の調査・研究、適材適所での木造化・木質化を推進してまいりたいと考えております。神戸支部の皆様には、是非この取り組みにご理解いただき、公共建築物のみならず、民間の建築物についても木材利用の促進が計られますよう、会員の皆様のご協力とご支援をお願いしたいと考えております。

本年も引き続き、変わらぬご指導とご鞭撻をお願いするとともに、皆様の益々のご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市住宅都市局

建築指導部耐震推進課長 **中島和也**

新年あけましておめでとうございます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様には、平素より「すまいの耐震化促進事業」に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年で阪神・淡路大震災から23年となります。この寒い時期、お正月気分も抜けきらぬ中、1月17日を迎えますと、毎年、あの時を想い出される方も数多いことだと思います。私もその一人であります。「すさまじい地響きと揺れ、避難所、そして復興・・・」一方、今の子どもたちや学生さんなど、記憶にすらないといった若い世代も年々増えてきています。

このような中、「震災の経験と教訓を風化させることなく」とは言っても、それこそが年々困難となってきております。しかしながら、世界中で毎年のように大きな地震が起こり、わが国においても、南海トラフ地震などの大規模災害がいつ起きてもおかしくなく、リスクは高まるばかりです。

本市では、平成28年3月に「神戸市耐震改修促進計画（2016－2020）」を策定いたしました。

これまでの様々な取組みにより、住宅の耐震化率は、平成15年時点の約84%から、平成25には約91%へと向上しておりますが、新たな計画では、平成32年度に95%へと更に引き上げていくことを目標としております。

このためには、昭和56年以前の旧耐震基準住宅で、耐震性のないものを約3万戸減少させる必要があります。多くのみなさまに耐震化に取り組んでいただかねばなりません。先の大震災の記憶が薄れていく中、支援制度などの普及啓発が、ますます重要となってまいります。

貴支部の耐震診断員のみなさまには、昨年もお忙しい中、「なだ桜まつり」「灘ふれあい秋まつり」や板宿商店街での「建築士によるよろず相談会」など開催いただき、ありがとうございました。市民のみなさまの身近な場所で行っていただく、このような活動は、安全・安心なすまいを知らせていただく上で、ほんとうに大切な事だと思います。

また、貴支部みなさまには、耐震相談、耐震診断員派遣事業を通じて、市民と行政を結ぶ大変重要な役割を担っていただいております。

今後も建築士である専門家、地域住民、事業者、行政が一体となって、すまいの耐震化を進めて行く必要があります。引き続き、みなさまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年がみなさまにとって、素晴らしい一年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。



新年のご挨拶

一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社
住環境再生部長 **根 岸 芳 之**

新年明けましておめでとうございます。

平素より当公社の事業に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当公社では、これまで培ってきたすまい・まちづくりに関する経験・技術力・資産を活かして、市民や地域社会からの多様なニーズに的確に応え、市民の安全・安心・快適な生活の実現に寄与してまいりたいと考えております。

私の担当しております住環境再生部におきましては、主に2つの事業に取り組んでおります。

一つ目は、「すまいるネット」です。設立以来神戸支部の皆様方に大変お世話になっております。すまいに関する様々な「相談」、「情報提供」、「普及啓発」を事業の柱として、「マンション管理支援」や「高齢者の住替え支援」、「空き家の活用支援」、「耐震化・バリアフリー化に関する補助」など、様々な施策をワンストップで提供しています。

「空き家の活用相談」では、使える空き家の有効活用を促進したいということで、一般相談に加え、専門家による相談、さらに課題解決や活用方法等の具体的な提案を可能とする体制を整えています。これまでに約1,200件のご相談をいただいております。約50件が市場流通につながっています。

また、高齢者やひとり親世帯など、賃貸住宅への入居が困難な世帯に対して、家主側の不安を解消し、円滑な入居をサポートするために「神戸すまいのあんしん入居制度」を進めてきました。連帯保

証、家財の片付け（いますぐプラン、あとからプラン）、安否確認、葬儀の実施といったサービスを行っています。一部を除き昨年秋より持家にも対象を拡大するとともに、需要の多い家財の片付けについては、提供事業者の追加募集等を行いました。今後も必要な見直しを行っていきたいと考えております。

もうひとつは公社賃貸住宅事業です。震災復興のために取り組んできました借上特定優良賃貸住宅事業は、今年全ての住宅で20年の借上期間の終了を迎えることになっています。最後の住宅まで、オーナーへの円滑な返還に努めていきます。

また、神戸市に借上市営住宅として提供していた4団地が、今春当公社に返還されることになっています。一部事前に用途廃止をして、募集・入居を始めていますが、今後本格的に公社賃貸住宅として運営していくこととなります。昨年10月より開始しました、神戸市内に就職・転職する若年単身者向けの家賃減額等の支援制度「はたらくKOBÉ」等を用い、有効活用を図っていきます。

そのほか、借上市営住宅の建物劣化診断業務につきましても、神戸支部の皆様方に大変お世話になっております。

本年も、変わらぬご理解とご協力をお願いするとともに、皆様の益々のご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

兵庫津の地域資源と「ものづくりのコミュニティ」

ウズラボ 大阪市立大学 准教授
竹内 正明・小池 志保子

●現役の木材加工所がアートスペースに

2016年6月、神戸市兵庫区南部地域にある木材加工所で「FILMLESS CINEMA LIVE CONCERT『ことばの舟着き場』』という、音楽コンサートとインスタレーション展示をおこなうイベントが開催された。

これは、木材の加工場として現役で稼働している町工場を会場とした、1日限定のアートイベントである。開催前日に展示物の搬入と会場設営がおこなわれ、翌日には消えて無くなった。そこで起こったことは参加した人の心の中にだけ残る。発すれば消えてしまう「ことば」のように、刹那的な空間演出となった。



fig-01



fig-02



fig-03



fig-04

兵庫区南部地域には、住宅よりは大きく、公共施設よりは小さい、即物的な町工場がたくさんある。現役で稼働しているものもあれば、廃業して建物だけが残っているものもある。

多くの町工場は、高齢化が進んでいるため、将来的には消えて無くなってしまいう存在かもしれない。しかし、建築ストックとして見れば、特徴的で創造意欲を駆り立てる。このような空間をうまく活用することで魅力的な場ができ、人と人の交流が生まれ、地域の小さな拠点として再生する可能性があると感じた。

私たちウズラボがこの地域に活動拠点を構えて約10年になる。この10年の間に町工場とともに培われてきた、ものづくりにおける人のつながりを



fig-05

目の当たりにしてきた。この地域には少しずつ築き上げられた「ものづくりのコミュニティ」という土壌があり、それが今でも確実に生き続け、人と人とのつながりを広げている。



fig-06

●兵庫区南部地域の歴史は古い

神戸といえば、異人館のある三宮や南京町のあの元町がまず頭に浮かぶ。しかし遡ると、兵庫城が築城され、初代兵庫県庁が置かれた兵庫区南部地域が兵庫県の中枢を担う場所であった。

平安時代には瀬戸内海航路の重要拠点となり、「大輪田泊」と呼ばれていた。福原遷都によってこの地に居を構えた平清盛によって「経ヶ島」と呼ばれる防波堤が築造され、日宋貿易の拠点として整備されたのが「大輪田泊」である。

鎌倉時代以降は「兵庫津」と呼ばれて発展し、江戸時代には北前船の集散地として賑わいを見せた。そして近代以降、1868年に神戸港が「兵庫」として開港される。この当時、湊川を境として西を「兵庫港」、東を「神戸港」と呼んでいた。その



fig-07

後、1892年の勅命により「神戸港」となり、国際貿易拠点として今日に至る。

神戸港開港以降、多くの西洋文化が持ち込まれたことで、「神戸発祥」と言われるものが数多くある。例えば、コーヒーも「神戸発祥」と言われるものの一つである。1874（明治7）年に神戸元町の茶屋「放香堂」がコーヒー豆を輸入し、「焦製飲料コフィー」として飲用と粉末の販売を始めたのが最初だと言われている。

こういった土壌であるため、道を歩いているとコーヒーのいい香りが漂うところが多い。大手から小さくてもこだわりのあるコーヒー豆屋さんまで、日々の生活でおいしいコーヒーを楽しむのは、コーヒーを通じたインフラが整っているからだ。



fig-08



fig-09



fig-10

●木材の町として引き継がれる

神戸が良好な港として古くから繁栄を続けてきた背景には、「兵庫運河」の存在がある。

兵庫区南部地域に広がる「兵庫運河」は、水面積がおよそ34ha、長さの合計が6,470mあり、運河としては日本最大級の規模を誇る。この運河は、船舶の避難場所として、また荷揚げ場としての機能を果たしていた。

大正から昭和初期の運河周辺は商工業地域として賑わった。戦後以降、「兵庫運河」は貯木場として利用された。貯木場となった地域は材木町と呼

ばれており、多くの製材所が軒を連ねた。そのため、兵庫津付近を歩いていると木材が積まれた風景をよく目にする。しかし、貯木場として利用されなくなった現在では、製材所として機能している町工場は一軒のみである。



fig-11



fig-12



fig-14



fig-13

この地に唯一残る製材所は1931年に創業され、現在の社長が三代目となる。製材のみならず、多種多様な銘木をストックしている。三代目のご子息も会社の経営に携わっており、兵庫区南部地域の木材インフラを将来に引き継ぐうえでも重要な存在と言える。

この隣は、古い製材所のスペースを活かした北欧のビンテージ家具および雑貨のリペア・販売を行うショップである。ここで取り扱っている家具や食器の使い心地は併設するカフェスペースで実際に体験できる。元製材所というおらかな空間に、たくさんの家具や雑貨が展示され、魅力的な空間となっている。

しかし、それだけではない。実はここに行くと、必ず数人の知り合いと出会い、近況報告をし合うことに

なる。私たちにとってこの場所は、兵庫区南部地域の拠点となっているのだ。

●古くて新しい「ものづくりのコミュニティ」

兵庫区南部地域の木材を通じた「ものづくりのコミュニティ」を最大限に活用し、デザインから製材、加工、販売までを担う「小さな経済圏」を構築しようとしている人物がいる。それがSHARE WOODSの山崎正夫氏である。

山崎氏は「自然素材で心地よい暮らしが実現できる」というコンセプトで木に関わるあらゆるオーダーに応じてくれる。木材販売のみならず、建築資材および木製品の商品開発までも手がけている。



fig-15



fig-16

山崎氏の活動は多岐にわたる。そのひとつに六甲山の間伐材を使った商品づくりがある。六甲山材の活用方法を考えるミーティングをおこなうとともに、実際に触れることで六甲山材のことを知るワークショップなどを開催し、そのプロセスを経たうえで商品化が進んでいく。



fig-17

六甲山の間伐材は、山から丸太を伐採し、先述した製材所で木材として加工されている。こういった木材をストックし、実際に見て触って選ぶことができる場所として山崎氏は「マルナカ工作所」の運営を始めた。

「マルナカ工作所」の建物は、海に面した兵庫区西出町の埠頭に建つ舟大工工房であった。舟大工ひと筋60年の工場主が引退・廃業するのを機に、山崎氏が建物を引き継ぎ、「ものづくりのコミュニティ」拠点として整備しつつある。



fig-18

●お互いの顔がわかる距離感

兵庫津周辺地域の木材でつながる「ものづくりのコミュニティ」は新しく芽生えたものではなく、すでに存在していたものである。このコミュニティは、社会情勢の変化や職人の高齢化によって徐々に希薄化しているが、失われたわけではない。下降線を辿りつつあった「ものづくりのコミュニティ」が、ここ最近にわかに元気づいてきたことを実感している。

ウズラボでは、この地域にあるコーヒー豆屋さんの新オフィス改修計画の設計依頼を受けた際に、そこで使用する木材のことをSHARE WOODSに相談した。すると、地域の製材所を通じて入手した木材が、地域の木材加工所で加工さ

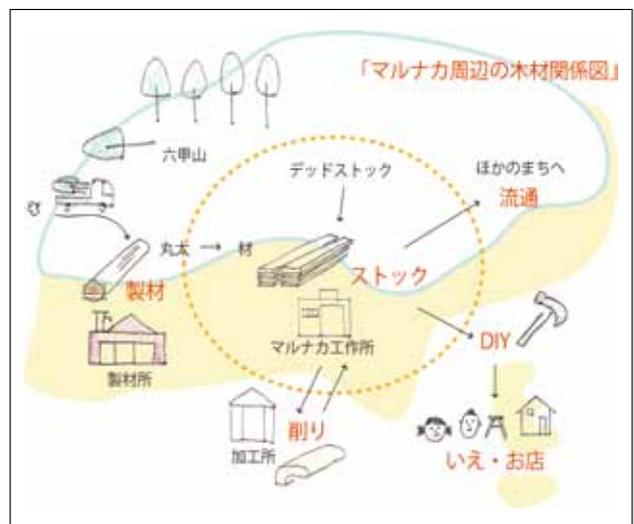


fig-19

れ、商品として納品された。施主も設計者も木材を手配してくれる人たちも、みんな顔見知りである。

ここでは、大きな経済が動くわけではないが、小さいながらも信頼できる取引が営まれている。こういったコミュニティを山崎氏は「小さな経済圏」と名付けている。

「小さな経済圏」では、関係する多くの人顔見知りで、それぞれの得意分野をよく理解している。お互いの顔がわかる距離でおこなわれるコミュニケーションは、互いに刺激しあいながら切磋琢磨することで実践される良質でクリエイティブな活動を支えている。

地域のコミュニティは暗黙の了解で話が通じる。しかし他者から見るとブラックボックス化しているように見える。そこを水先案内人のようにマネジメントするのが山崎氏のような存在だ。

冒頭で触れたアートイベントは、「ものづくりのコミュニティ」内に暮らす人々を通じて他者であるアーティストがこの地域に参加し、閉ざされた町工場を他者の介入によって開いた瞬間だったと言える。これまで培った絶妙な関係性を崩すことなく開放していくことや、地域資源を視覚化し地域の価値を上げることを考えるきっかけとなったという点でこのアートイベントを開催した意義は大きい。このような小さな動きが少しずつ連動することで、兵庫津を取り巻く「ものづくりのコミュニティ」が再び育ちはじめている。

[参考文献]

- ・ 田辺真人編『平清盛と神戸 ゆかりの地で出会う歴史と伝説』神戸新聞総合出版センター、2012年
- ・ 森隆行『神戸港 昭和の記憶 仕事×ひと×街』のじぎく文庫、2014年

fig-01・02

絵と音と言葉のユニット・repairによる生演奏コンサートと、黒田武志、江崎武志、ka-jiによるインスタレーション展示が木材加工所で開催されたときの様子

fig-03・04

普段の木材加工所はありふれた町工場として静かに行んでいる

fig-05

木材加工所で製作した無垢材削り出しの取手

fig-06

近所の材木屋の材料をつかったウズラボの室内
(撮影：梅田彩華写真事務所)

fig-07

兵庫城趾の遺跡調査の様子。調査終了後は埋め戻されてイオンモールが建設された

fig-08

荷受したコーヒー豆をチェックする「マツモトコーヒー」の松本真悟氏。兵庫区切戸町にある「マツモトコーヒー」は、本当においしいと感じるコーヒーを安定して日常に届けたいという思いから、生産国へ足を運び、高品質なコーヒー生豆の買い付けをおこなっている

fig-09

「三栄」は兵庫運河に面した場所に行んでいる

fig-10

左の入り口が「三栄」の製材ゾーン、右の入り口が「北の椅子と」

fig-11・12

「三栄」での製材作業の様子と積み重ねられた木材

fig-13・14

おおらかな空間のなかで家具や雑貨を選び、カフェでゆっくりとくつろげる「北の椅子と」は地域コミュニティの拠点的存在

fig-15

「マルナカ工作所」付近の埠頭から見た日の出の様子

fig-16

以前は舟大工の工房だったが、現在は木材のストックならびに木材をきっかけとする活動の拠点として活用されつつある「マルナカ工作所」の整備初期段階の内部の様子

fig-17

六甲山材で楽器「カホン」をつくるワークショップが「マルナカ工作所」で開催された

fig-18

ワークショップで自作した「カホン」を演奏する参加者たち

fig_19

「マルナカ工作所」周辺にある木材関係の「ものづくりのコミュニティ」関係図(作図：真砂日美香)

学生案で実現した量産型鉄骨住宅のリノベーション

神戸芸術工科大学 環境デザイン学科
花田 佳明・川北 健雄



既存建物の鉄骨構造と新たに挿入した部分との対比*

1. プロジェクトの背景

全国的に人口減少が進む中、都市部であっても、高度成長期に開発された郊外住宅地では、高齢化や空き家の老朽化が目立つようになった。またその中心市街地においても、使われなくなったオフィス、商業ビル、賃貸マンションなどを今後どうしていくのかは大きな課題である。

そのような状況をふまえ、神戸芸術工科大学環境デザイン学科でも、既存ストックの利活用の問題を、実習、講義、研究、そして実践の場において取りあげている。また、多くの自治体や諸団体、あるいは民間企業からの依頼を受け、まちづくりへの協力も行なっている。

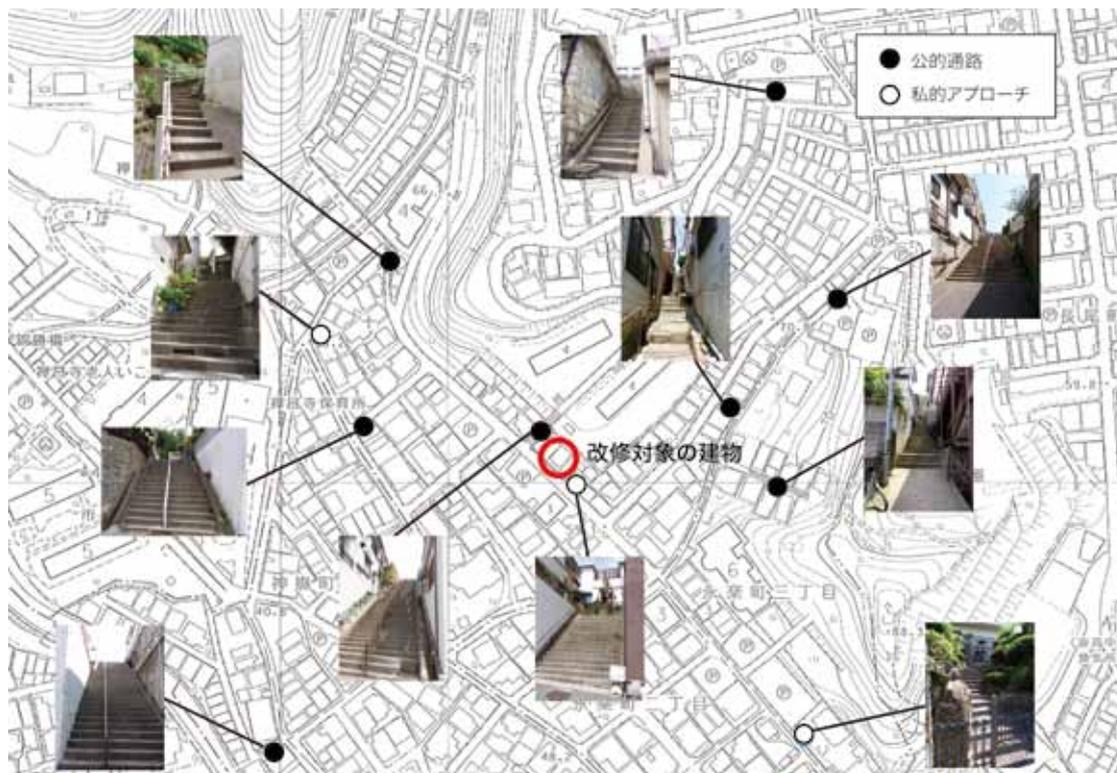
そのような活動の一環として、本学科では2010年より、神戸市の不動産会社・大和船舶土地株式会社と協働して、前述したような問題を抱える神戸市須磨区の住宅地を対象に、古い建物

のリノベーションや町の活性化に取り組んできた。また、神戸市内別地区にある同社所有賃貸マンションの住戸改修を学生の実習課題とし、学生作品を実際に施工するプロジェクトを2つ実施した。それらの成果は、既に本誌で3回にわたり報告をした⁽¹⁾。

そして今回は、両者を融合する試みとして、神戸市須磨区の住宅地内にある量産型住宅のリノベーションを、実現を前提とした3つ目の実習課題とした。以下、その完成までの様子を報告する。

2. 対象建物周辺の地域特性

リノベーションの対象となった建物は、神戸市須磨区禅昌寺町にある一戸建て住宅である。道路に沿った高い石垣の上であり、駐車スペースはない。周囲は、戦後開発された住宅地で、昨年度までの記事で述べた通り、戸建て住宅や木造アパー



周辺地域の街路空間を特徴づける主な階段の分布

トが多く建ち、高齢化が進んでいる。対象建物の外観上の最も強い特色は、前面道路レベルから住宅の玄関まで、建物の2階分の高低差を一気に上げる、石垣に張り付いたような直線階段のアプローチの存在にある。形や規模の差はあれ、このような階段は、高低差の多いこの地域一帯に共通する



階段の上にあるのが対象建物*

まちの空間特性でもあり、公的な通路として道路の途中にあるものや、私的アプローチとして道路と住戸をつなぐものまで、さまざまな階段が周辺に数多く見られる。

3. プロジェクトのスタート

本学科では、学生の専門性を高めるため、3年生後期に設計を学ぶ実習科目を、リノベーション／建築／ランドスケープ／まちづくりという4つの分野に分けて用意している。本プロジェクトは、そのうちの「リノベーション総合実習」の課題として行なった。

考慮すべき設計のポイントとして、出題時に学生に示したのは以下のことがらである。

(1) 住宅としてのプログラム

石垣の上にあるので高齢者が住むのは難しい。立地条件が大きな問題にならないよう、「若い夫婦と子供2～3名の核家族用の住宅」「アトリエや仕事場の付いた個性的な住宅」「学生や若者向けシェアハウス」など、用途を柔軟に考えてほしい。

(2) 量産型住宅という背景

この住宅は、約40年前の1975年に建設された



現況平面図（作成：安田利宏／ランドサット）

量産型の2階建て住宅である。高度成長期に求められた住宅供給のため、多くの住宅メーカーが材料や構法を標準化し、さまざまな住まいを生産した。この住宅でも鉄骨造に、断熱材を入れた木製パネルを組み合わせた構法を採用し、2階の床下には鉄筋の水平ブレースがはいつている。そのような社会的・技術的背景をどう受け継ぎ、展開するかを考えてほしい。

(3) 地域や周辺環境との関係

周辺は、オーナーである不動産会社が中心になり、戦後開発された住宅地である。しかし高齢化が進み、個々の建物も更新が必要な時期を迎えている。そのような状況の中で、少しでもこの地域の今後の発展に貢献できるような住まいにしてほしい。また、この立地ならではの景観なども十分に活かし、賃貸住宅としての価値を高めてほしい。

4. 授業の様子

授業は、2016年の9月20日が出題、12月13日が提出締め切り、12月22日が最終講評会というスケジュールを進めた。主担当者は花田で、2

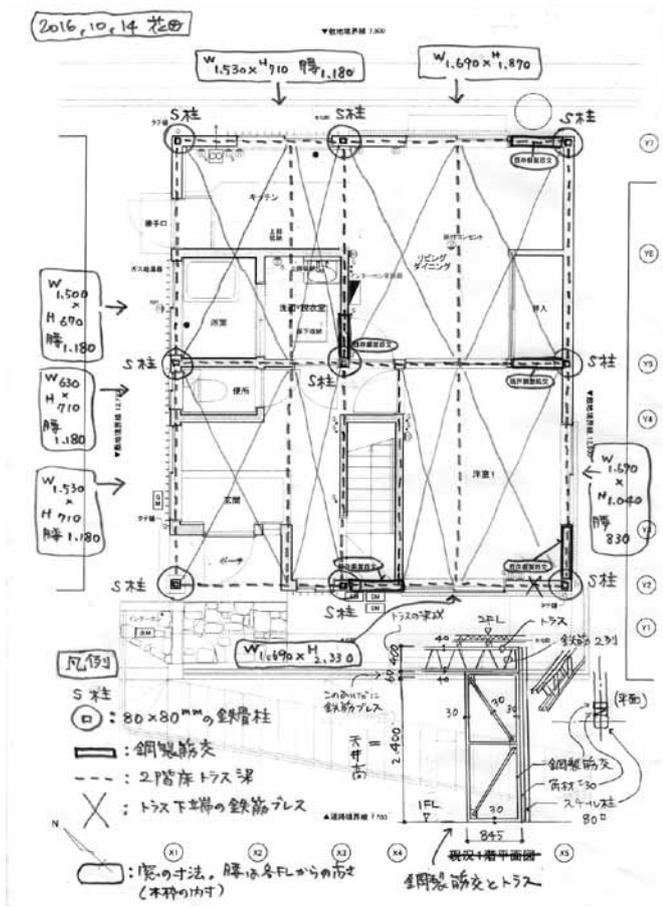
名の非常勤講師（小池志保子／大阪市立大学准教授、魚谷繁礼／魚谷繁礼建築研究所）も加わった。

履修者は40名弱で、優秀案は実現するという前提を学生に伝え、実施設計レベルの図面を描くことを目標にした。既存部の構造が不明だったため、まずは現地見学と実測から始め、鉄骨柱、鉄骨のトラス梁（チャンネルと鉄筋）、鉄筋ブレース（2階床）、K型の鋼製ブレース（耐力壁）などの様子を調べ、情報を共有した。

また、実施図面の描き方の解説、実施設計で考えるべきことについての非常勤講師による実践的な講義、大和船舶土地株式会社の社長・鈴



対象建物の現況。壁面内のK型の鋼製ブレースがわかる*



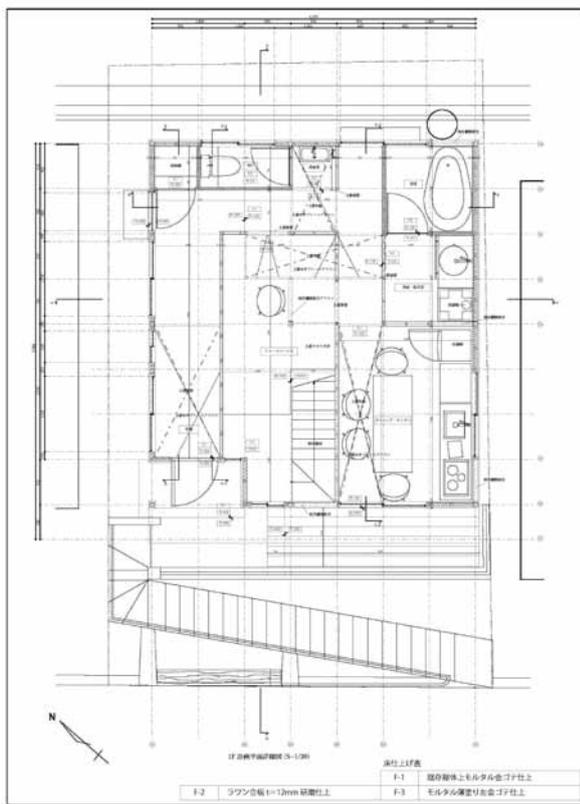
対象建物の構造体の調査図



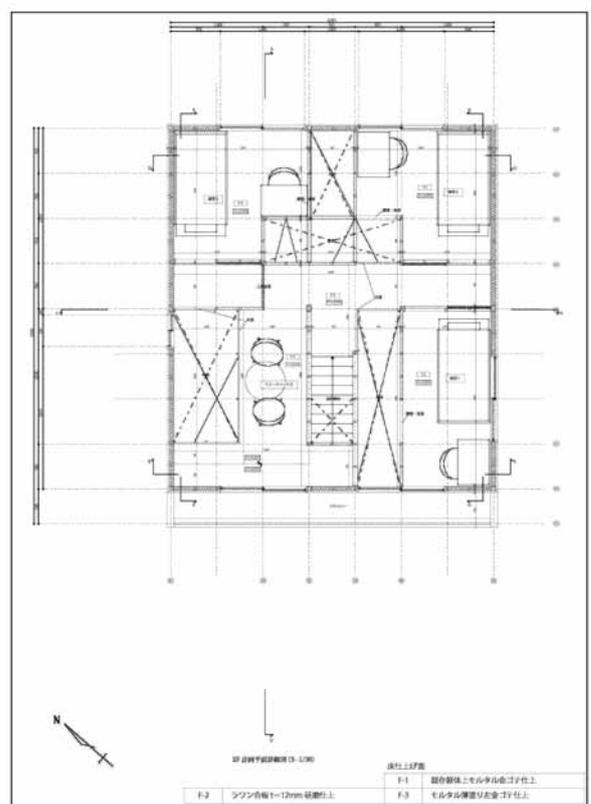
学生案外観パース



学生案断面パース



学生案1階平面図



学生案2階平面図

木祐一による不動産から見たリノベーションについての講義なども実施した。

学生案を実現した過去の2つのプロジェクトは、いずれも賃貸マンションの住戸であった。しかし今回は1軒の住宅と規模が大きく、しかも学生は不慣れな鉄骨造であったが、多くの学生は、これまでの規模の大きな課題とは異なる小さなスケールの設計を楽しみ、最終的には予想を越える多様な作品が提出された。

講評会が終わってから関係者で実施案の選定を行なった結果、山門久晃の作品「PLACES」を実現することに決定した⁽²⁾。

彼の案では、1階の中央に壁で囲われたフリースペースを設け、その回りに廊下を配して動線を長くし、2階では、1間×2間または半間×2間で床面にある鉄筋ブレース部分をひとつ飛ばしに吹き抜けとし、個室どうしに距離感を生み出している。

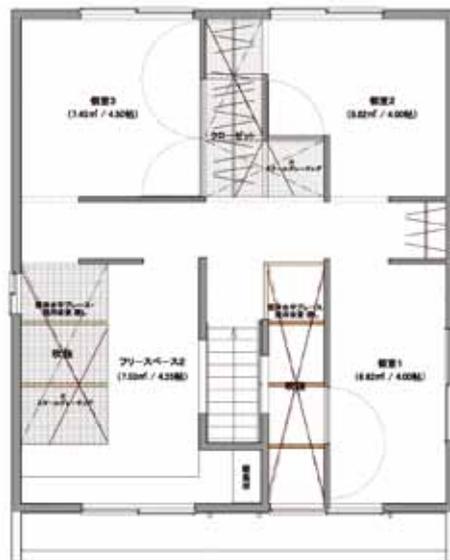
また、玄関から奥まで土間を引き込み、廊下をぐるりと回ってから階段を経由して2階へと導く動線の構成は、周辺地域の街路空間の特性を建物内部に転写したような、外部と内部とのシーケンスの連続性を想起させるものとなっている。

その結果、外観も構造も階段の位置も変えていないのだが、元の住宅とは対照的な特性の空間と、個を尊重しつつ多様な関係性を生み出す平面計画が実現した。つまり彼の案は、量産型住宅の標準的な骨格を使いながら、それがめざした生活像とは全く別の可能性を引き出したリノベーションである点が高く評価されたというわけだ。

5. 実施設計から完成へ

実施設計は、大和船舶土地株式会社および本学科と長く共同してきた建築家・安田利宏(ランドサット)が担当し、鈴木祐一、安田利宏、本学科の花田佳明・川北健雄、学生・山門久晃で打合せをし、まとめていった。ちょうど春休みになり、学生は安田の事務所に通って実施設計に参加し、現場での材料決めなどにも関わって実践的な勉強をした。

計画の最大の目標は、大量供給と標準化をめざした40年以上前の量産型住宅を、当初の志を活かしながら、現代的な住空間へと甦らせることであった。その目標に向けて実施設計ではさまざまな変更を行い、最終案にたどりついた。平面図と設計のポイントは以下の通りである。



最終案の1・2階平面図



内装を撤去した状態。鉄骨の骨組みと階段がわかる*

(1) 既存の構造体との新たな関係の構築

リノベーションを行うには既存建物の特性の把握と評価が重要だが、現況調査の結果、内装や断熱材の再利用は難しいと判断し、鉄骨の構造体、外装、屋根、外装サッシ、木製階段のみを残すことにした。



ダイニングからキッチンを見る。構造体が露出している**

柱は80mm角のボックスで、半間あるいは1間ごとに外壁内に存在するが、内部空間では中央に1本立っているだけである。梁はチャンネルと鉄筋で組まれたトラス梁。2階床面には、階段部を除き半間あるいは1間ごとに鉄筋ブレースがはいつている。K型の鋼製ブレースが5カ所あるが、内部空間に独立して立つのは2カ所であった。

これらの構造体をよく見ると、工業化住宅とはいえ

手作り感があり、時代の空気が感じられた。そこで、天井や内装材で隠さずに現しとしたり、2階床面の鉄筋ブレースの位置をデザインの手がかりにすることにより、既存部の構造体もつ時代性への敬意を示すデザインを試みた。したがって、新たな塗装はしなかった。



階段の途中にもうひとつのレイヤーがある*

その結果、各所に印象的な空間が誕生した。その代表が、現しにした鉄筋のトラス梁によるものだ。階段を上り下りして梁の横を通過する瞬間、鉄筋が細いために梁の存在が消え、1階と2階の間にもうひとつのレイヤーが存在しているように見える。水平方向の吹き抜けとでも言うべきそれは、住宅全体を再認識する新鮮な空間体験であり、初期量産型住宅の構造ならではのものといえるだろう。独立させたK型の鋼製ブレースは、空間の柔らかな分節に寄与している。



玄関土間と廊下。白い壁の向こうがフリースペース**



開放的なダイニングキッチンと閉じたフリースペース。対照的な空間である**

(2) 平面計画の多様な改変

元の建物の平面構成は実に明快だ。中央に階段や廊下などを収めた半間幅のゾーンを十文字に置き、その回りに必要諸室を配することで、玄関や階段からの最短距離の動線を実現している。そのシンプルな構成は一見合理的な最適解に見えるが、互いに似た空間を並置しただけであり、生活の多様さを受けとめる器としての魅力に欠けている。

そこで改修案では、元の建物とは異なる多様な場が集積した住まいにすべく、1階においては動線を逆に長くすることを、2階においては各室の境界の複雑化を試みた。



個室2の窓を開けたところ**



個室2の窓を閉じたところ**



個室1 (左側) とフリースペース (右側)**

1階の長い動線は、壁に囲われたフリースペースを中央に置き、玄関からのルートをその回りに巡らすことで実現した。階段の位置は元のままで



2階のフリースペース。南側は海までの眺望が開ける**

が、玄関からそこまでの距離が大幅に延びた。さらに水回りをそのルート沿いに集約することで、明るく広いダイニングキッチンを生み出した。

2階の構成は、大きく4つのゾーンに分かれている点では元と同じだ。しかし、互いの境界を形成する壁や扉はすべて撤去し、視線の抜けを考慮した開口部をもつ壁を新たに設け、4つのゾーンの関係を多様に調整できるようにした。

また、水平ブレースの位置と関連づけながら床面に開口を設け、1階とのつながり方もデザインした。4つのゾーンのうち、3つは個室や夫婦の寝室として使い、玄関の上の部分は共用スペース的な使い方を想定している。

(3) 最小限の外観の変更

外観についてはほとんど手を加えていない。外装材は元のままで、塗装をやり直したただけであ



改修後の外観。2階のバルコニーを撤去した以外は再塗装程度**

る。変更したのは、2階のバルコニーの手摺を撤去し、窓際に新たな手摺をつけたことくらいだ。40年前の量産型住宅のデザインと、成熟した住宅地の風景がもつ味わいを評価した上での判断でもある。

6. まとめ

本プロジェクトは、2017年9月に無事竣工し、9月18・23日に見学会を実施した。本学科の学生はもちろん、一般の方から建築の専門家まで多くの来訪者があり好評を博した。

対象が量産型住宅なので、在来工法による木造住宅以上に構成ルールが明確であり、そこへの上書きとしてのリノベーションを、一定の理路を示しつつ実現できたのではないかと自負している。

このエリアでは、「まちとつながる住宅によるエリア再生の試み」(『アプローチ』2017年1月号)で示したように、既にリノベーションや新築により、新たな住空間を作ってきた。いわば、疲弊した町にお灸とでもいうべき点を打ってきたわけである。そして今回のプロジェクトは、さらに新たな点である。現在、他のプロジェクトも進行中であり、いずれそれらの点と点の間に生まれるネットワークによって、エリア全体の更新を実現したいと考えている。

註

(1) 「リノベーションによる個別更新を通したまちの魅力づくり」『アプローチ』2015年1月号、「学生作品を実現したリノベーション・プロジェクト」『アプローチ』2016年1月号、「まちとつながる住宅によるエリア再生の試み」『アプローチ』2017年1月号。

(2) 山門案を含む優秀作品は、本学科の作品集『PRAXIS 2017』に掲載している。この作品集はウェブ上 (issuu) でも公開しており、以下のサイトで見ることができる。

<http://www.kobe-du.ac.jp/env/works/2017.php>

写真クレジット

* : 花田佳明、** : 山田圭司郎

(はなだ よしあき / 神戸芸術工科大学教授)
(かわきた たけお / 神戸芸術工科大学教授)

保存 再生 活用を考える

華頂大学 教授 設計事務所 建築計画寶谷
川島 智生・寶谷 勝馬

●御影公会堂

御影公会堂は、昭和8年に旧武庫郡御影町の公会堂として「白鶴」という酒造家嘉納治平衛氏によって寄付され鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上3階地下1階建で建設、設計者は神戸市の初代営繕課長清水栄二で、以来各種集会をはじめ文化的な活動の拠点として、永きにわたり市民に親しまれてきました。また竣工当初の趣を残す、外壁のスクラッチ・タイルや窓、回りの分厚い縁取り、船体をイメージされるデザインなどの特長を持つ文化的な価値の高い建築物で、野坂昭如原作 アニメ映画の「火垂るの墓」の舞台として有名である。

しかし築80年を超え、耐震性能が不足しているだけでなく、建物の傷みや設備の老朽化が進み、またバリアフリーへの対応が不十分となっており、循環型社会における建築のあり方を見据えた、歴史文化遺産の活用の再生を目的として耐震改修を含めた大規模な改修を行い、市民に親しまれる集会施設として、その機能や建物外観などを維持していく、又地下食堂のオムライスは有名

で、創設者は鈴木貞で前職は大阪のホテルのバンケット支配人を勤め 配偶者は清水栄二の親戚で今は3代目の人が経営されている。

●清水栄二の設計と当時のスタッフ

設計者 清水栄二及び清水栄二建築事務所の現存する建物として旧神戸市森高等女学校校舎（神戸学院大学付属高等学校）旧魚崎町庁舎（現東灘区民センター分館）旧駒ヶ林町公会堂（現駒ヶ林保育所）旧高嶋平介邸（甲南漬資料館1930年御影町）旧西尻池公会堂（現鷺尾外科1926年神戸市）旧大谷邸（神戸大学ロイ・スミス館1936年神戸市）

神戸農林水産消費技術センター旧館（旧神戸市立生糸検査所1927年神戸市）帝国信栄ビル（1923年神戸市）御影公会堂（1933年御影）等学校関係で37棟設計されており、当時御影公会堂スタッフは、最初のスケッチは本人である清水栄二がおこない、プランと大まかなデザインがそこで決定され、細部の設計を含めた実施設計は番頭格の梅本由巳が担当し、舞台回りの設計と全体



旧魚崎町庁舎（現東灘区民センター分館）



旧駒ヶ林町公会堂（現駒ヶ林保育所）



神戸農林水産消費技術センター旧館 (旧神戸市立生糸検査所)

の見積もりを三木作治が、また構造は相原弁一が現場監理を西村儀一がそれぞれ担当したと京都華頂大学の教授川島氏が梅本由巳氏に聞き取り調査を行なった、またほとんどのスタッフは神戸市出身者で構成されている。地元出身による設計をなされているのが特徴である。

●今回の建物の特徴と保存

1995年元日付の神戸新聞掲載で、建築後60年が経過して老朽化が進み、神戸市は公会堂を大改修して柔道の殿堂「嘉納記念館」とする計画を立案し、耐震性の問題から、正面玄関部分のみを残し、北側を壊して新しく建て替えるというものであった。神戸大空襲でも外観が残り、1995年1月17日の阪神淡路大震災といった災禍も耐え抜



旧高嶋平介邸甲南漬資料館)



旧大谷邸 (神戸大学ロイ・スミス館)

いたが、今日に於いて耐震性能が不足しているだけでなく、建物の傷みや設備の老朽化が進み、またバリアフリーへの対応が不十分となっていたため、バリアフリー対策としてエレベーターや多目的トイレ、スロープ等を設置、授乳室、障害者用駐車場等の設置とともに建物内部の汚れや痛みの目立つ床、壁、天井などの改修、大集会場の2、3階席の一部取り換えや空調設備の更新などまた地下の食堂の前の地域情報発信として展示スペースを設けて震災前に計画された柔道の嘉納記念館の設置がされるなど。

【このたびの工事費】

6億8005万 (施工：山田工務店) + α

- ・耐震補強工事：耐震壁増設、開口部塞ぎ、鉄骨補強、屋根スラブ補強



帝国信栄ビル



旧御影公会堂



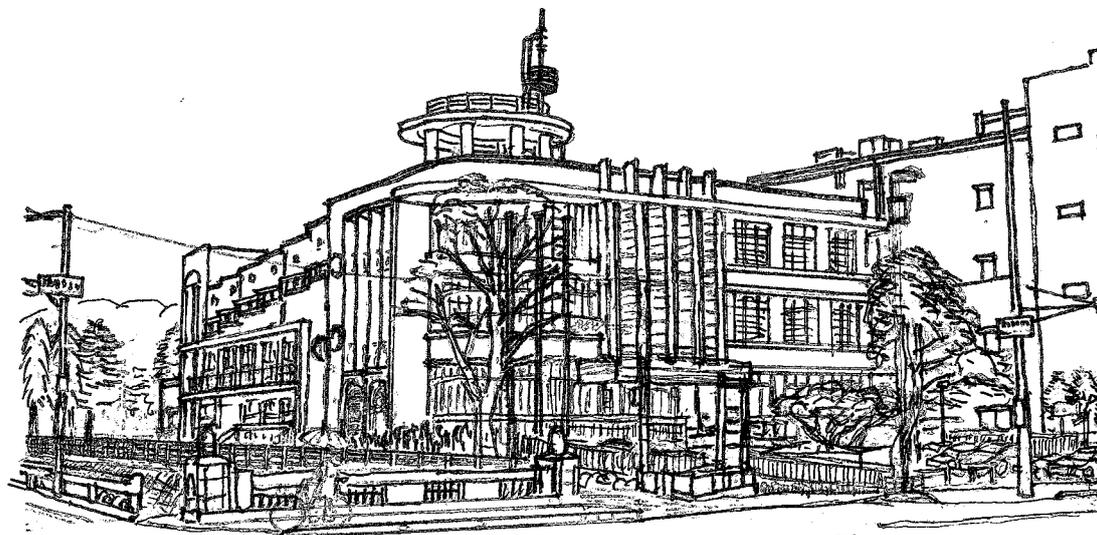
新御影公会堂

当時の主な公会堂一欄

公会堂名	竣工年	面積 (T)	建設費	設計者	設置者
中之島	T7	2381	112万	岡野信一郎	大阪府
岩手県	S2	1200	43万	佐藤 功一	岩手県
別府	S3	1000	33万	吉田 鉄郎	別府市
京都	S6	577	9万8千	京都市宮繕	京都市
豊橋	S6	1000	17万	中村與資平	豊橋市
姫路	S6	900	14万4千	置塩 章	姫路市
御影	S8	978	17万6千	清水 栄二	御影町
政治国民会館	S8	899	40万	岡野信一郎	武藤山治

- ・ 外装改修工事：外壁改修、建具改修
- ・ 内装改修工事：地下機械室設置、各階居室内装改修、便所改修等
- ・ バリアフリー改修工事：エレベーターシャフト設置、外部スロープ設置
- ・ 附属棟解体工事：機械室、ポンプ室解体撤去

当時建物の特徴、特に外観については、安価に仕上げるため形態に重きを置かれていると、思われる個所多数あり出隅部はドイツの表現派的にアールで、西面の欄間は大集会場の天井に合わせて段差によるデザイン、また玄関回りのファサードはドイツのパウハウス、欄間及びサッシ窓はオ



K.Hotani 2017.12



玄関底の光天井

ランダのデ・スタイルといった建築様式が折衷されたスタイルで、外壁・外装としてスクラッチタイル、亀山石、大理石は山口の秋吉台の鍾乳石等、外装モール（屋上の飾り、パラペット頂部、窓額化粧、水平飾りなど）には擬石（グラニット）仕上げである（再現）。

屋上物見台が震災にも壊れなかったのは8本の支柱の内4本が構造体で地階の食堂まで連なり、また避雷針支柱がその上に設置されタラップおよび手すりも構造体の一部になっている（残す）。玄関底の光天井の採光の工夫（底上の窓より取り入れている）（再現）

●改修

文化財建造物と現状変更について常に課題として取り沙汰されている。現在御影公会堂は文化財建造物として登録されていない。将来登録しない場合は改修工事に気を使う必要がなく自由設計で充てることができるが、この建造物は文化財として価値が十分に残存しており近い将来文化財に登録・指定されることは建造物の歴史・構造等からして充分考慮された改修工事が、下記の通り纏まっていると思う。

耐震壁の一部増設：施工部分については、文化的価値が十分ある為近い将来文化財建造物で登録されることを考慮した工事をするを検討している。



最上階市松のトップライト

●エレベータの新設

大集会場の屋根は80mmのスラブを残して屋根トラスの入れ換えおよび天井の改修：現状維持

外壁一部張替（スクラッチタイル）、モール（グラニット）の取替：元型維持

鉄部のサッシ、トップライトを一部を残しアルミサッシに変更：スチールサッシについては保存再利用の検討された模様だが、どの現場でも同じで腐食、痛みが酷く漏水の原因にもなり、中には湾曲も見られたので、地下食堂のサッシを残し撤去、中にはスチールPLで補強しているものもあった。新設では風圧・遮音などを検討し着色については既存のサッシの研ぎ出しや開閉の少ない隠ぺい部などの色を見つけ出し近づけている。なお室内の塗装は塗装剥離剤で調査。



屋上物見台

事業報告

・新年挨拶回り（総務部）

日 時：2017年1月6日（金）

場 所：中央区・神戸市役所・（一財）神戸すま
いまちづくり公社

参加者：正会員4人

・新年互例会（事業部）

日 時：2017年1月13日（金）

場 所：中央区・北京料理第一楼

参加者：正会員30人、賛助会員29人、参加者計63人



・住まいの安全・安心・未来展（事業部）

日 時：2017年1月18日（水）～1月28日（土）

場 所：中央区・神戸市役所1号館2階・市民
ギャラリー

参加者：正会員4人、賛助会員2人

・第6回正副支部長会（総務部）

日 時：2017年1月27日（金）

場 所：中央区・（株）アーキノヴァ設計工房

参加者：正会員5人、賛助会員1人

・機関紙「アプローチ46号」発行（広報部）

日 時：2017年1月31日（火）

配布先正会員・賛助会員・神戸市役所・まちづ
くり公社・設計発注部局他

作成部数82頁・450部 正会員7人、賛助会員3人

・第5回幹事会（総務部）

日 時：2017年2月2日（木）

場 所：中央区・勤労市民会館

参加者：正会員13人、賛助会員1人

・インスペクション普及啓発セミナー（研修部）

日 時：2017年2月4日（土）

場 所：中央区・神戸市勤労市民センター

参加者：正会員6人



・第34回親睦ボーリング大会（厚生部）

日 時：2017年2月11日（土）

場 所：中央区・ラウンドワン三宮駅前店

参加者：正会員30人、賛助会員13人



・神戸市立いぶき明生支援学校見学会（特別事業
渉外部）

日 時：2017年2月18日（土）

場 所：西区井吹台西町7丁目

参加者：正会員20人、参加者計30人



・第7回正副支部長会（総務部）

日 時：2017年3月8日（水）

場 所：中央区・㈱アーキノヴァ設計工房

参加者：正会員6人、賛助会員1人

・第6回幹事会（総務部）

日 時：2017年3月16日（木）

場 所：中央区・勤労市民会館

参加者：正会員14人、賛助会員1人

・第24回なだ桜まつり住宅相談会（地区別連絡
協議会）

日 時：2017年4月1日（土）

場 所：灘区・都賀川公園

参加者：正会員3人



・第8回正副支部長会（総務部）

日 時：2017年4月1日（土）

場 所：中央区・㈱アーキノヴァ設計工房

参加者：正会員6人、賛助会員1人

・神戸支部・会計監査会（会計）

日 時：2017年4月4日（火）

場 所：中央区・北澤建築事務所

参加者：正会員8人

・平成28年第2回幹事会・役員総会（総務部）

日 時：2017年4月6日（木）

場 所：中央区・ホテルモントレ神戸

参加者：正会員33人、賛助会員9人

・第195回KJ会（ゴルフ同好会）

日 時：2017年4月25日（火）

場 所：加古川市・城山ゴルフ倶楽部

参加者：正会員7人、賛助会員7人



事業報告

・平成29年第58回神戸支部定時総会（総務部）

日 時：2017年4月28日（金）

場 所：中央区・ホテルモントレ神戸

参加者：正会員37人、賛助会員14人、参加者計56人



・第1回正副支部長会（総務部）

日 時：2017年5月12日（金）

場 所：中央区・(株)アーキノヴァ設計工房

参加者：正会員6人、賛助会員1人

・第6回KT会（トレッキング同好会）

日 時：2017年5月20日（土）

場 所：JR新神戸駅→摩耶山→六甲ケーブル

参加者：正会員5人、賛助会員1人、参加者計13人



・第1回法規講習会（研修部）

日 時：2017年6月1日（木）

場 所：中央区・兵庫県私学会館

参加者：正会員27人、参加者計76人

・平成29年第1回幹事会・役員総会（総務部）

日 時：2017年6月8日（木）

場 所：中央区・ホテルモントレ神戸

参加者：正会員31人、賛助会員9人

・第196回KJ会ゴルフコンペ（ゴルフ同好会）

日 時：2017年6月27日（火）

場 所：三木市・チェリーヒルズゴルフクラブ

参加者：正会員6人、賛助会員5人



・第49回KM会（麻雀同好会）

日 時：2017年7月1日（土）

場 所：中央区・平和荘

参加者：正会員4人、参加者計8人



・神戸ポートオアシス見学研修会（研修部）

日 時：2017年7月1日（土）

場 所：中央区新港町5

参加者：正会員16人、参加者計18人



日 時：2017年9月1日（金）

場 所：中央区・さんちが夢広場

参加者：正会員2人、参加者計23人

・第1回カメラ講習会（事業部）

日 時：2017年9月8日（金）

場 所：中央区・勤労市民会館

参加者：参加者計12人

・（一社）愛媛県建築士事務所協会との研修交流会
（事業部）

日 時：2017年9月9日（土）

場 所：中央区・南京町・牡丹園

参加者：正会員6人、参加者計18人

・神戸市公共建物設計に関する意見交換会（総務部）

日 時：2017年7月4日（火）

場 所：中央区・神戸市勤労会館

参加者：正会員13人、参加者計20人



・第2回正副支部長会（総務部）

日 時：2017年7月26日（水）

場 所：中央区・㈱アーキノヴァ設計工房

参加者：正会員5人、賛助会員1人

・第2回幹事会（総務部）

日 時：2017年8月3日（木）

場 所：中央区・勤労市民会館

参加者：正会員12人、賛助会員1人

・第2回カメラ講習会・撮影会（事業部）

日 時：2017年9月10日（日）

場 所：中央区・神戸駅界限

参加者：参加者計6人

・神戸市すまいの耐震キャンペーン（事業部）



・第197回KJ会ゴルフコンペ（ゴルフ同好会）

日 時：2017年9月16日（土）

場 所：加東市・やしろ東条ゴルフクラブ

参加者：正会員7人、賛助会員2人

・第3回カメラ講習会（事業部）

日 時：2017年9月19日（火）

場 所：中央区・勤労市民会館

参加者：参加者計15人

・第3回正副支部長会（総務部）

日 時：2017年9月22日（金）

場 所：中央区・㈱アーキノヴァ設計工房

参加者：正会員6人、賛助会員1人

・第3回幹事会（総務部）

日 時：2017年10月12日（木）

場 所：中央区・勤労市民会館

参加者：正会員13人、賛助会員1人

・灘ふれあい秋まつり住宅相談会（地区別連絡協議会）

日 時：2017年10月14日（土）

場 所：灘区・都賀川公園

参加者：正会員3人、参加者計8人



・第4回カメラ講習会（事業部）

日 時：2017年10月17日（火）

場 所：中央区・勤労市民会館

参加者：参加者計13人



・第5回カメラ講習会（事業部）

日 時：2017年10月26日（木）

場 所：中央区・勤労市民会館

参加者：参加者計13人

・第50回KM会（麻雀同好会）

日 時：2017年10月28日（土）

場 所：中央区・アート

参加者：正会員4人

・建築士事務所キャンペーン（事業部）



日 時：2017年11月11日（土）

場 所：須磨区・板宿商店街

参加者：正会員9人、賛助会員2人、参加者計13人

・第7回KT会（トレッキング同好会）

日 時：2017年11月23日（木・祝）





場 所：阪急六甲駅⇒六甲ケーブル下駅⇒六甲
ケーブル山上駅⇒一軒茶屋
参加者：正会員3人、賛助会員3人、参加者計18人

・第4回正副支部長会（総務部）

日 時：2017年11月24日（金）
場 所：中央区・㈱アーキノヴァ設計工房
参加者：正会員5人、賛助会員1人

・一泊研修旅行（事業部）

日 時：2017年11月26日（日）～
場 所：鈴木大拙館⇒塗師の家⇒キリコ会館⇒
大野からくり記念館
参加者：正会員15人、賛助会員2人



・第198回KJ会ゴルフコンペ

（阪神支部60周年ゴルフコンペ合同開催）

日 時：2017年12月6日（水）
場 所：三木市・チェリーヒルズゴルフクラブ
参加者：正会員13人、賛助会員3人、参加者計28人



・第4回幹事会（総務部）

日 時：2017年12月7日（木）
場 所：中央区・勤労市民会館
参加者：正会員12人、賛助会員1人

・神戸支部相談役会（総務部）

日 時：2017年12月18日（月）
場 所：中央区・㈱アーキノヴァ設計工房
参加者：正会員6人

・神戸市公共建物設計に関する意見交換会（総務部）

日 時：2017年12月21日（木）
場 所：中央区・神戸市勤労会館
参加者：正会員12人、参加者計21人



「住まいの安全・安心 未来展」

事業部

- 開催日時：平成29年1月18日（水）～28（土） 10：00～18：00
- 開催場所：神戸市役所1号館2階・市民ギャラリー
（神戸市中央区加納町6丁目5-1）



一般社団法人 兵庫県建築士事務所協会
神戸支部長 柏本 保 様

謹啓 余寒なお厳しき折、時下ますますご清栄のことお慶び申し上げます。平素は本市の進める住宅行政及び都市計画行政に格別のご理解とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび平成29年1月17日から28日に開催いたしました「住まいの安全・安心 未来展」に際しましては、副支部長の成瀬秀一様をはじめ貴会の皆様には多大なるご協力とご尽力を賜り、誠にありがとうございました。

今回貴会にご出展いただいた耐震兆番模型や軽量屋根施工模型、パネル等は、来展者の皆さまからも実際に住宅耐震を進める上での理解の一助となったとのことで好評を博しておりました。

おかげさまで、本企画展示には多数の方々の参加をいただき、滞りなく盛会のうちに終了することができました。

これもひとえに貴会のご協力とお力添えがあつてのことと、改めまして感謝申し上げます次第です。

本市におきましては、住宅の耐震化促進に関する施策を、引き続き啓発・実践活動に努める所存でございますので、今後とも変わらぬご支援・ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

暦の上に春は立ちながら、厳寒の折、何卒ご自愛専一にてお願い申し上げるとともに、皆さまの御健康と今後の御活躍を祈念いたします。

本来なら拝眉にてお礼を申し上げるべきところではありますが、まずは略儀ながら書中をもってお礼申し上げます。敬白

平成29年2月吉日

神戸市長 久元 喜造

神戸市では平成27年度に「神戸市住生活基本計画」「神戸市耐震改修促進計画」を改定し、これを踏まえた安全・安心な住まい方・住まいづくりについて、その内容や関連施策などを市民向けに広報する耐震化推進課の依頼により耐震イベントに参加することになりました。

今回は広く一般の方を対象に、地震等自然災害に備えた安全・安心な住まいや住まい方を実現するために必要となる建築技術や知識、様々な支援制度、中古住宅のリノベーションの実例等を実際に知っていただく・ふれていただく機会を設けるために11日間の参加型の展示会を開催しました。

神戸支部では耐震関連のパネル展示と、土曜日毎、地震時に玄関ドアから避難できる耐震丁番のデモ機を用いて説明会を開催いたしました。

賛助会の(株)北村鉄工所、ケイミュ(株)からは、耐震関連商品の展示をして頂きました。

内 容：ギャラリー展示

パネル展示、模型・実物展示、映像による展示等を通じて、安全・安心なすまいづくり・住まい方・まちづくりに関する知識や技術の紹介

参加団体：(一社)木と住まいの研究協会、(NPO法人)住まいの構造改革推進協会、住宅金融支援機構、神戸市消防局、国立研究開発法人防災科学技術研究所、兵庫耐震工学研究センター、G-FLAT株式会社、新光産業株式会社

TAIAN PROJECT

耐震で安心

すまいの耐震化促進

神戸で
1981年5月以前に建てられた旧耐震基準の戸建住宅にお住まいの方。
今後、高い確率で発生するであろう**南海トラフ地震**が起こる前に、**耐震改修**を行いましょ。まずは、**無料の耐震診断**から。

神戸市 住宅都市局
神戸市すまいとまちの安心支援センター

TAIAN PROJECT 展示会

すまいの安全・安心 未来展 at 神戸市役所1号館2階 市民ギャラリー

2017.1.18(水)-28(土) 10:00-18:00 無 料

※1.17(火)はプレ展示となっております。

神戸市では平成27年度に「神戸市住生活基本計画」「神戸市耐震改修促進計画」を改定し、これらを踏まえた安全・安心な住まい方・住まいづくりについて、その内容や関連施策等を市民向けに広報しています。また、平成28年度より取り組んでいる「耐震で安心TAIAN PROJECT」は、昭和56年(1981年)5月以前に建築された旧耐震基準住宅の耐震化促進を目的とし、民間企業や地域住民によるネットワーク形成によりプロジェクトの継続実行を目的としています。今回、広く一般の方を対象に、地震等自然災害に備えた安全・安心な住まいや住まい方を実現するために必要となる建築技術や知識、様々な支援制度、中古住宅のリノベーションの実例等を実際に知っていただく機会を設けるために11日間(プレ展示を含めると12日間)の参加型の展示会を開催します。

右記の5つに該当する方にオススメです

- 1 住宅の耐震化に関心のある方
- 2 安全・安心な住まいづくり・住み方を考えている方
- 3 中古住宅の購入・リノベーションを考えている方
- 4 旧耐震住宅を購入・相続した方
- 5 新しい住まいのあり方に関心のある方

スマホでのお申込みはこちら

トークイベント(申込制・定員各40名)

1月21日(土) 13:00-15:00 TAIAN PROJECT トークセッション 03
出演者：小泉 真樹(神戸市耐震推進課)・島田 隆(クアータークラウド)・山野 大祐(G-FLAT)・水間 大典(PAVE)
申込締切：1月20日(金)

1月22日(日) 13:00-15:00 みんなで聞こう！リノベーション勉強会
出演者：山野 大祐(G-FLAT)
申込締切：1月20日(金)

1月28日(土) 15:00-17:00 TAIAN PROJECT トークサロン
申込締切：1月27日(金)

ギャラリー展示(自由にご覧いただけます)

- 1 一般社団法人木と住まい研究協会
- 2 一般社団法人兵庫県建築士事務所協会神戸支部
- 3 国立研究開発法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター
- 4 新光産業株式会社
- 5 G-FLAT株式会社
- 6 住宅金融支援機構
- 7 特定非営利活動法人住まいの構造改革推進協会
- 8 神戸市消防局

FAXでのお申込みはこちら

本件担当：神戸市 住宅都市局 建築指導部 耐震推進課 TEL:078-322-6608 FAX:078-322-6981
下記内容をご記入の上FAXをお送りください。

TAIAN PROJECT トークイベント参加申込書

FAX(078-322-6981)まで切らずにお送りください。神戸市 住宅都市局 建築指導部 耐震推進課行

フリガナ お名前	E-mail
ご住所	市 区 住居形態 <input type="checkbox"/> 持ち家 <input type="checkbox"/> 賃貸
年齢	<input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上
ご興味のある内容(複数回答可) <input type="checkbox"/> リノベーション <input type="checkbox"/> 耐震化 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 家の売買・相続	

※ご記入頂いた個人情報については「TAIAN PROJECT」に関わる参加者の保護、名簿作成、欠欠確認、連絡案内、本所各種情報提供の目的に使用致します。
[主催]神戸市/神戸市すまいとまちの安心支援センター [協賛]五十音順)一般社団法人木と住まい研究協会/一般社団法人兵庫県建築士事務所協会神戸支部/神戸市消防局(兵庫県庁内)
[協賛]研究開発法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター/新光産業株式会社/G-FLAT株式会社/住宅金融支援機構/クアータークラウド/特定非営利活動法人住まいの構造改革推進協会
[協賛]東洋建設株式会社 [PR]フォーミュラPAVE

神戸市立いぶき明生支援学校見学会

特別事業渉外部

- 開催日時：2017年2月18日（土） 13：00～16：00
- 研修先：いぶき明生支援学校
（神戸市西区井吹台西町7丁目）

- (1) 学校規模 幼児児童生徒数 約300人
- (2) 障害種別 知的障害、肢体不自由
- (3) 設置学部 幼稚部（肢体不自由）、小学部、中学部、高等部
- (4) 建設地 西区井吹台西町7丁目（約2.5ha）
- (5) 延床面積 約15,600平方メートル（地上2階）

13時に神戸市西区井吹台の現地に各々、現地集合。予定通りに見学会開始。

神戸市立いぶき明生支援学校は同垂水養護学校（肢体不自由部門）と同青陽西養護学校（知的障害部門）から移転・建替えの為、新設された、知的障害の子供たちと肢体不自由の子供たちが共に学ぶ特別支援学校（敷地面積：約25,000㎡、延床面積：15,600㎡、2階建）です。

会議室にて、設計者である山田総合・山本設計設計共同企業体のご担当者からご挨拶と、特別支援学校として特に配慮して設計されたポイントなどをわかりやすく、規模・概要等の説明がありました。

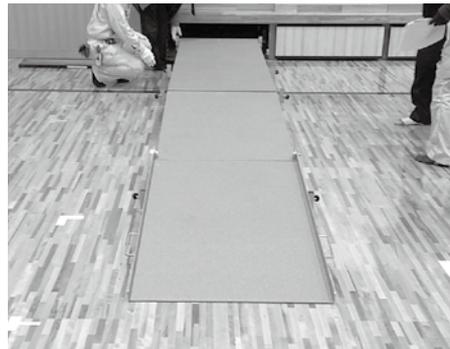
学校概要を拝聴した後、説明を聞きながら、自然の森林に囲まれた広大な学校敷地を一周しました。まず、6台の通学バスと多くの自家用車が同時駐車できる広いエントランスや駐車場に案内され、本学校の規模の大きさに目を見張りました。続いて、職業教育訓練施設として農園や一般のお客さまも利用できるカフェ、歩行訓練用として運動場を一周できる遊歩道などを視察し、特別支援学校として特徴のある充実した施設が整備されていることを実感しました。

その後、校舎内に移動し、知的障害・肢体不自由部門の共用部の体育館やスクールストリート、プールを見学しました。体育館では運動会も催される為、2階の全周囲の廊下から観覧できるよう工夫されており、またプールは体温調整が困難な生徒でも利用できる様、温水プールとして整備されたと説明を受けました。



最後に知的障害部門と肢体不自由部門のそれぞれの校舎棟を見学しました。動作訓練としての1・2階を結ぶ長大なスロープや感覚学習室、職業訓練としての窯業室、さをり織り室、木工室、ビルメンテナンス室など一般的な学校では見られない機能や設備の整った充実した教室を見て回り、みなさんは各々に興味のある場所を熱心に質問されたり、雑談や意見を交わしながら見学され、有意義に過ごされました。

当日は天候にも恵まれ、山田総合・山本設計設計共同企業体のご担当者を初め、スタッフの皆さんにはお世話になり、ありがとうございました。



(仮称)いぶき明生支援学校について

1. 概要

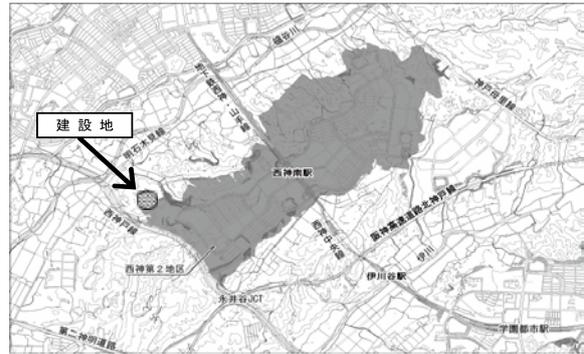
垂水養護学校（肢体不自由対象）と青陽西養護学校（知的障害対象）の耐震化を図るため、青陽須磨支援学校（知的障害・肢体不自由対象）を含めた3校で通学区域を再編し、平成29年4月に知的障害・肢体不自由を対象とした（仮称）いぶき明生支援学校を開校する。

2. 現状

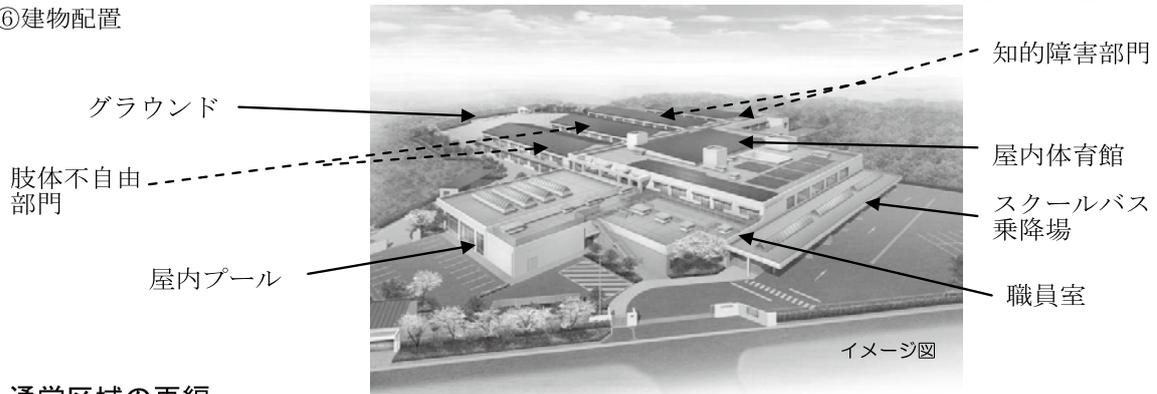
学校名	垂水養護学校	青陽西養護学校
障害種別	肢体不自由	知的障害
建設年度	昭和51年	昭和44年
住所	垂水区旭が丘 2-1-15	垂水区狩口台 3-1-3
児童生徒数 (H28.5.1 現在)	幼稚部 0 人、小学部 22 人、中学部 34 人、 高等部 27 人 計 83 人（訪問教育部除く）	小学部 31 人、中学部 48 人、 高等部 80 人 計 159 人
校地面積	4,958㎡	7,116㎡
通学区域	垂水区・須磨区・西区（神出・押部谷・ 桜が丘中学校区を除く）	垂水区

3. 建設計画

- ①学校規模：幼児児童生徒数 約 300 人
- ②障害種別：知的障害・肢体不自由
- ③設置学部：幼稚部(肢体不自由)・小学部・中学部
・高等部
- ④建設地：西区井吹台西町7丁目(約 2.5ha)
- ⑤延床面積：約 15,600㎡(地上 2 階)



⑥建物配置



4. 通学区域の再編

平成29年4月1日より、以下の通り、新通学区域を実施する。（平成26年2月決定）

(仮称) いぶき明生支援学校 (西区井吹台西町 7)	青陽須磨支援学校 (須磨区西落合 1-1-4)
垂水区 歌敷山・星陵台・多聞東・本多聞・舞子・ 神陵台中学校区	須磨区
西区 (神出・押部谷・桜が丘中学校区を除く)	垂水区 桃山台・塩屋・垂水東・福田・垂水中学校区 (名谷町の竜が台中学校区を含む)

5. 理念

えがお あふ 笑顔が溢れ (充実した学びの姿)
 ゆめ ほぐく 夢を育み (子供の可能性)
 あした い 明日を生きる (未来への決意)

6. スケジュール

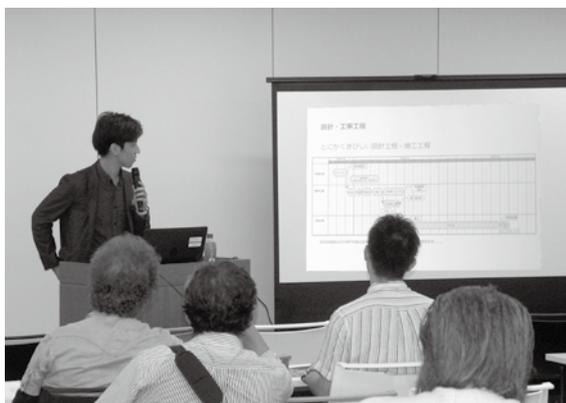
平成27年10月～平成29年2月末 建設工事（明和・大木特定建設工事共同企業体）
 平成29年 4月 開校

「神戸ポートオアシス」見学研修会

研修部

- 開催日時：2017年7月1日（土） 13：30～16：30
- 研修先：「神戸ポートオアシス」
 - (1) 建物用途 集会場、事務所、物販・飲食店舗
 - (2) 建設地 神戸市中央区新港町5
 - (3) 構造規模 鉄骨造 5階建て
 - (4) 延床面積 4,736.30㎡

神戸港は、今年平成29年1月に開港150年を迎えました。開港150年を記念して、一昨年、神戸港福利厚生施設「神戸ポートオアシス」が計画され、昨年6月30日に起工式が執り行われました。㈱安井建築設計事務所の設計者から説明を受けながらの見学研修会を開催いたしました。



資料提供 ㈱安井建築設計事務所

みなとまち神戸の未来のために

安井建築設計事務所 小林直紀 宮武慎一



神戸ポートオアシス夜景

神戸ポートオアシス

建築主 神戸市みなと総局計画課
設計・監理 株式会社安井建築設計事務所
施工 建築：東洋・寄神特定建設共同企業体
電気：東洋電気工事
空調：イトーヨーギョー
給排水・衛生：長村商会

所在地 神戸市中央区新港町5-2

敷地面積 2418.64 m²

建築面積 1365.37 m²

延床面積 4736.30 m²

構造規模 鉄骨造 地上5階

工期 2016年7月～2017年6月

最寄駅 JR神戸線 三ノ宮駅

●神戸での建築設計

神戸は大学時代の6年間を過ごした、とても深い恩恵を感じるまちです。ウォーターフロント開発が進む神戸港湾エリアの活気付けに寄与できる建築の設計は非常にありがたいチャンスでした。神戸のまちや人に潤いや元気を提供出来るような建築を創りたいという思いで取り組みました。

●市民の思いの込められた複合施設

神戸ポートオアシスは150年を迎えた神戸開港を記念する総合福利厚生施設です。1階は市民に開放された食堂・カフェとコンビニ、2・3階は音楽イベントも開催可能な多目的スペース、4・5階は事務室と会議室を主とした建築です。

建築基準法上も集会所、事務所、飲食店舗、物販店舗という4つの用途からなる複合施設となり、特に消防協議上の課題は多くありました。

施設名称の「神戸ポートオアシス」は市民の方々からの公募により、神戸の港（ポート）が市民の憩いの場所（オアシス）となり、今よりもっと親しまれるようにとの想いを込めて命名されました。



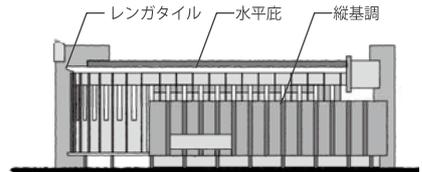
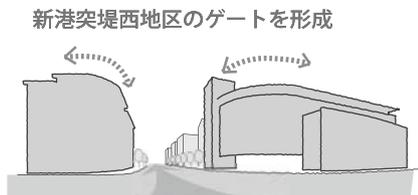
外観夜景



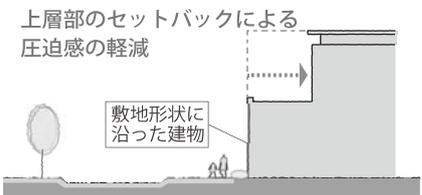
立体ギャラリーからエントランスセイルコートを望む

●周辺分析から生み出した素直な形態

周辺の長く愛され続けている歴史的建築である神戸税関や KIITO、新港貿易会館との調和を図るため、3つのデザインコード、①縦基調の外観、②レンガタイル、③頂部の水平庇、および敷地周辺の街並み分析から読み取れた3つのまちなみコード①交差点のアーチデザイン、②歩道に沿った外壁ライン、③上層部のセットバックから素直に外観デザインを構成しています。



3つのデザインコードから生まれる形態



3つのまちなみコード

●賑わいを創出する多目的イベント空間

エントランス空間は周囲の歩道と連続した内外一体の3層吹抜イベント広場となる「セイルコート」とし、2階レベルにはイベント時の観客席にもなる立体ギャラリーを配置してウォーターフロントの歩行者ネットワークの充実と、まちの中に賑わいを立ち上げることを意図しました。

立体ギャラリーには50年ごとの神戸港の歴史を表現した銘板も設置しています。2階の多目的ホールは最大400人収容が可能であり、移動式観覧席とすることで、多様なイベントに対応可能なフレキシブルな計画としています。



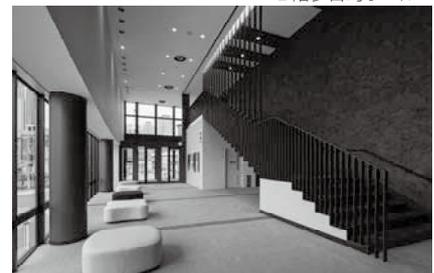
エントランスセイルコート



立体ギャラリーに設置した神戸の歴史銘板



2階多目的ホール



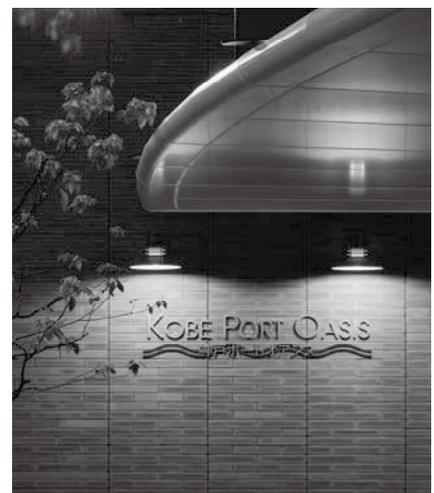
2階ホワイエ

●魅力的な夜間景観の創出

神戸の100万ドルの夜景にふさわしい魅力的な建築ライトアップと、フラワーロードから連続する街路照明の設置等により、港湾エリア全体の一体性の創出の一端を担い、海側・山側をつなぐ憩いの灯台として市民に愛される建築を目指しました。



海側（南西側）外観夜景



エントランスサイン

神戸市すまいの耐震キャンペーン オープニングイベント

事業部

- 日時：平成29年9月1日（金） 13：30～15：30
- 場所：さんちか夢広場
- 趣旨：神戸市では、毎年9月・10月を“神戸市すまいの耐震キャンペーン”期間と位置付け、市民団体や専門家団体・報道機関等と連携し、耐震化に関する様々なイベントを集中的に実施している。
- 内容：神戸市の耐震化促進のキャラクター「オキールはかせ」が登場し、インターシップ学生たちと「すまいの耐震化」に関するチラシやグッズを配布する。
また、耐震診断や改修工事に関連した強引な勧誘やリフォーム詐欺などの悪質商法の被害を防止するために、啓発活動も行う。
- 参加団体：
 - ・神戸市住宅都市局耐震推進課（インターン学生含む）
 - ・神戸すまいまちづくり公社 すまいるネット
 - ・兵庫県建築士事務所協会神戸支部
 - ・兵庫県警察本部

今年度は、兵庫県住宅再建共済基金が実施する「フェニックス共済加入促進街頭キャンペーン」と同時開催。兵庫県住宅再建共済基金からは、はばタンとフラワープリンセスが来場し、啓発グッズを配布。





(一社)愛媛県建築士事務所協会との研修交流会

事業部

- 日時：平成29年9月9日（土）午後6時30分～
- 場所：本館 牡丹園（神戸市中央区元町通1-11-20 旧居留地・大丸前）

六甲山ジギスカンパレス → 六甲ガーデンテラス → 神戸小磯記念美術館 →
スターバックスメリケンパーク店 → 「交流会」 → 神戸ポートタワーホテル（泊）
御影公会堂 → 横尾忠則現代美術館 → 竹中大工道具館 → デザインクリエイティブセンター →
水の科学博物館 → ジェームス邸

愛媛会の研修見学会で、神戸市内での工程の中で交流会を開催した。



一泊研修旅行 ⑩ 金沢・能登へ名建築と街並み巡り

スペースプロ級建築士事務所 岡田俊彦

- 日時：平成29年11月26日(日)～27日(月)
- 参加者：18名

JR神戸駅南側の駐車場から晩秋11月26日日曜の朝8時、快晴の空の下、我々18名を載せたバスは金沢、能登に向けて出発。

今回の研修は、谷口吉生氏 安藤忠雄氏 などの名建築を見学すること、輪島、金沢の歴史や街並み、建築の場に触れ、保存への取り組みもあわせて学ぶことがテーマ。

【谷口吉生建築作品 鈴木大拙館 玉川図書館】

名神高速を走り出すところから、バス後方では「小」宴会がスタートし、いい雰囲気です。賑やかに一路金沢へ。途中休憩をとりながら走ること約4時間、兼六園近くの駐車場にバスが止まり、兼六園脇の「兼六亭」にて昼食。園内に入らなかったものの、和食お弁当で「加賀百万石」雰囲気を味わう。

昼食後は金沢生まれの仏教哲学者、鈴木大拙を記念し2011年、学習展示施設として建設された「鈴木大拙館」へ。谷口吉生氏設計の建築空間は直線的であり、あえて囲われた感じの展示、学習の空間を抜けたあとに、一気に開放的な水盤に面する屋外の回廊を通して三方を禅宗の方丈庭園を思わせる水面に囲われた思索空間に入るといふ動線を持ち、気持ちの転換を説明なしに誰もが体感できる。



次に、金沢市玉川図書館へ、ここは谷口吉生氏が設計し父、谷口吉郎氏の監修。明治から大正期にタバコ製造所として建築され、現在は近世資料館として使用されている建物と並んで建つ「新旧名建築」を観ることが出来る。図書館はピシッとストイックな外観とは違って、内部は緩やかな曲線で構成されアットホームな雰囲気。日曜ということもあって、まさに老若男女、大勢の市民で賑わっていた。

【安藤忠雄作品 西田幾太郎記念哲学館】

夕闇せまるころ、西田幾太郎記念哲学館に到着。雨がぱらつくなか、エレベータに乗って記念館へのアプローチ階へ。エレベータから一歩踏み出すと、直線的なアプローチの左手に現れる記念館の本館。まさ

活動報告

に、古代遺跡のような登場の仕方が安藤さんらしくダイナミック！ここも、ピアノの発表会が開かれていて、親子連れで賑わっていた。

ハコモノ公共施設は無駄だと言われていた昨今だが、金沢の図書館、記念館は地域、市民の文化施設として活着しているという印象。市民の文化レベルの高さも「加賀百万石」。

【晩御飯・・・割烹 喜芳】

能登道路を北へ約1時間バスは走って輪島へ。ホテルルートインに荷物を置いて、晩飯会場へ。小洒落た新しい料理屋さんで能登の海鮮とフグ刺しに舌鼓。小さな蟹「香箱カニ」が美味かった。そのあと、地元のスナックに転戦。地元の海女さんがシーズンオフにお店でアルバイトをしていて、漁の話で盛り上がるという「能登ならではの」の夕べであった。



【輪島朝市と塗師の家 キリコ会館】

一夜開けて月曜の朝。輪島と言えば「朝市」。学生時代のゼミ旅行で35年前の真夏に行って以来。真夏だったので酒屋でビールを買って、観光客でごったがえす中をあちこちの店で干物の試食をしながら歩き飲みをしていた思い出があるのだが、11月末の朝は寒い！月曜の朝ということもあって客もまばら。乾物屋さんのおばちゃんのトークをちょこちょこ聞いていると朝9時の塗師の家見学時間に。

塗師の家とは、輪島塗の作業場であったところ。現在は観光見学施設と高級輪島塗の販売店として運用している建物。江戸から明治に建築され、その後使用されなくなって荒れ果てていたものを修復し、平成2年からオープン。案内の方の話によれば、「人は不浄。塗りは高貴」という区別をはっきりさせていて、塗師の入り口と作品の出入り口を厳格に分けていたとのこと。調度品や建具の取手、釘隠しなどにも輪島塗が使われ、漆を建築の見せ場に上手く使っているところは流石。



その次に訪ねたキリコ会館は、輪島地方のお祭りに使われる高さ5m（電線の無かった昔は9mもの大型もあった）灯籠を市民が担いで町を練り歩く「奉灯」を地元では「キリコ」と言うそうで、その展示を行うPR施設。高さ9mの昔のものと並んで展示されている現在の5mのものは「小さい」。伝統的なお祭りがあるところ、古い街並みの良いところは電線の地中化を優先してすすめて欲しいものだ。

【金沢へ千里浜海岸、渚のドライブ】

輪島を後にして金沢への道中、砂浜を車で走ることができることで有名な千里浜海岸へ。ドライブイン名物「揚げ団子」をつまみにビールを一本。日本海の波は昨日まで高く通行止めにする時間帯もあったとのことなので、今日はラッキー！キラキラと眩しい海の風景を右手に眺めながら約20分の走行だった。

しかし、この海岸は浸食がすすんで砂浜が痩せ細ってきて、あと何年かすると車での走行はできなくなるかも、と心配されている。渚のドライブを体験したい方は急ぎましょう。

【昼食 割烹寿司 小林】

金沢市内に戻って昼食は寿司屋さんへ、2階の座敷はゆったりとしていて、ミニ懐石風のお料理。金沢らしい味に皆さん大満足。ここで出された熱燗がスツクリした味わいで、このあとに行った大野の街で酒屋を見つけて購入。

【大野からくり記念館 大野の街】

内井昭蔵氏設計の大野からくり館は江戸時代後期に日本で有名な「からくり師」であった大野弁吉氏の功績を讃え、市民にからくりの仕組みなどを紹介、展示する施設として建設されたもの。木の構造体がトラス形状を組みながら緩やかにカーブしてゆく姿が優美。

館内ではからくり人形の説明と茶運び人形と階段を後方回転しながら降りる人形の実演もあり、からくりの仕組みをわかりやすく体感できるコーナーもあり、子供から大人まで楽しめる運用、活用への意気込みを感じた。



そのあと古い街並みの残る大野の街を散策、古い醤油醸造元の展示空間を通り抜けて、販売コーナーで、皆さんお土産などお買い物。

全ての研修行程を終えてバスは、金沢の街を離れ神戸に向けて出発。

こんな感じで、素晴らしい建築空間を体感し、公共施設の活用状況に触れ、地域の伝統や古い街並み保存の実際を学び、美味しく北陸加賀を味わった充実の二日間だった。

インスペクション普及啓発セミナー

研修部

- 日時：平成29年2月4日（土） 10時00分～12時00分
- 会場：神戸市勤労会館 神戸市中央区雲井通5丁目1-2
- 主催：一般社団法人 兵庫県建築士事務所協会
- 後援：兵庫県
- 協力：一般社団法人 すまいの未来研究機構

1. 開会挨拶・経緯・趣旨説明

一般社団法人 兵庫県建築士事務所協会
副会長 吉村 憲夫

2. 「悪徳改修業者とトラブルになったお話」

兵庫県警察本部 生活安全部 生活経済課
調査官 小林 清隆 警視

3. パネルディスカッション「インスペクションってなに？」

・コーディネーター
一般社団法人 すまいの未来研究機構
才本 謙二

・パネラー
兵庫県県土整備部住宅建築局住宅政策課
主幹 辻本 浩司
兵庫県建築士事務所協会
神戸支部長 柏本 保
神戸地区 西神ニュータウン研究会
代表 橋本 彰
一般社団法人 すまいの未来研究機構
登録検査員 前田 信行

4. 閉会挨拶

一般社団法人 兵庫県建築士事務所協会
神戸支部長 柏本 保



5. 平成28年度インスペクション普及支援事業

兵庫県では、中古住宅の性能や品質などに対する消費者の不安を払拭し、安全・安心で良質な中古住宅の流通を促進するため、インスペクション（建物状況調査）の普及・啓発に取り組んでいますが、一般社団法人兵庫県建築士事務所協会は、この度、兵庫県と連携し、一般消費者や関係事業者等を対象としたインスペクション普及セミナーを開催することになりました。

2017年
2月4日（土）
10:00～12:00
受付9:30～
神戸市勤労会館

**インスペクション
普及啓発セミナー**

●開催日時
平成29年2月4日（土）
10時00分～12時00分

●開催場所
神戸市勤労会館
神戸市中央区雲井通5丁目1-2

●参加費
無料／定員60名
※参加費がかかりますが、インスペクションの相談がなくても
送付いただいた建築士等、専門家の方も参加ください。

●プログラム
悪徳改修業者とトラブルになったお話／30分
講師 兵庫県警察本部生活安全部生活経済課
小林 清隆 警視
パネルディスカッション／60分
インスペクションってなに？

●主催 一般社団法人 兵庫県建築士事務所協会
後援 兵庫県
協賛 一般社団法人 すまいの未来研究機構

●お問い合わせ
〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通7丁目1番14号 URL: <http://www.hyogo-aej.org/>

詳しくは右の
QRコードよりリンク

神戸市公共建物設計に関する意見交換会

総務部

- 日時：平成29年7月4日（火） 午後2：00～4：00
- 場所：神戸市勤労会館 3階307号室
- 参加者：神戸市 5名
 （一財）神戸すまいまちづくり公社 2名
 （一社）兵庫県建築士事務所協会 神戸支部 13名

1. 神戸支部・柏本支部長より

要望として地元の設計事務所を使って頂きたい。
 神戸市よりご指導いただき受注できる体制を作っていきたい。

2. 神戸市より

- ①老朽化によるタイル・モルタル等の落下事故が発生している。
 危機感より保全課が設立される。
- ②耐震改修促進法の改正で、公共建築物の努力義務があり、物件が出てきている。
- ③H22年公共建築物における木材利用の促進に関する法律
 当面は内装の木質化で、できるものについては構造も木造化していく。
 木造を得意としている設計事務所は参加して頂きたい。
- ④団塊の世代が退職してベテランがいなくなった。
 発注方法について意見を伺いながら見直せる
 ところは見直していきたい

3. 神戸すまいまちづくり公社より

公共施設の整備としては公社直営のものもあるが、神戸市からの受託の仕事が多い外壁改修工事や内装改修工事に協力して頂いている。

選定方式については公社独自のものもあるが、神戸市からの受託が多くあるので神戸市に準じて行っている。

4. 神戸市・設計者の選定方式の説明

プロポーザル方式・簡易プロポーザル方式・特命随意契約方式の選定方法について説明があった。

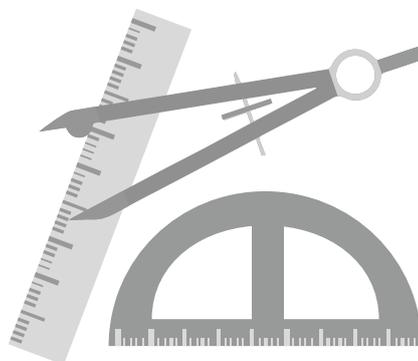
5. 公社・設計者の選定方式の説明

神戸市の資料フローチャートに準拠する。

6. 神戸支部・要望事項説明 柏本支部長

- ①設計者選定方法に関する要望事項
- ②設計条件に関する要望事項
- ③予定価格に関する要望事項
- ④業務に関する指示への要望事項
- ⑤設計変更に関する要望事項

7. フリートーキング



阪神支部創立60周年記念・神戸支部KJ会

第198回 合同ゴルフコンペ開催

阪神支部幹事 原田敏文

- 開催日時：平成29年12月6日
- 開催場所：チェリーヒルズゴルフクラブ（兵庫県三木市）
- 参加者：25名



霜が降り、吐く息も白く感じられる寒さの中、午前7時45分に集合して開催挨拶とルール説明が行われ7組25名の参加者が順次スタート。参加者全員がスタートとしてから間もなく寒さも弛み、無風に近い穏やかな快晴のもと紅葉の名残を楽しみながら和気藹々と（ハイレベルとは言い難い）ハイスコアレベルのプレーが繰り広げられ楽しい一日を過ごすことができました。

此の度の開催にあたりまして友好支部であります、神戸・三田・明石の各支部からのご参加戴き記念ゴルフコンペを盛り上げて下さいました。参加者皆様に改めましてお礼申し上げます。

さて、成績結果について少し触れておきますと優勝者は有難くもと言うか厚かましくもと言うか阪神支部の渥美さんでした。少しは遠慮をして他支部の方にお譲りすればと思うのですが、本人の意志に関わらないダブルペリア方式ですので仕方ないですね。渥美さんおめでとうございます。

阪神支部は今年創立60周年という節目を迎えたことを記念しまして、支部正会員と賛助会員並びに友好支部さんとの親睦を深めることに主眼を置いた催しや研修会など幾つかの行事を記念事業として順次開催させて戴いておりますが、ゴルフコンペに関しましては阪神支部としての開催が近年滞っていた状況でしたので、長い歴史を誇る神戸支部KJ会のお力添えを頂戴致しまして合同開催することが叶いました。これからも正賛会員間と支部間の親睦と友好を深める合同コンペの機会に恵まれますことを願っております。

最後になりましたが、大変お世話になりました神戸支部の皆様方に改めましてお礼申し上げます。ありがとうございました。

第34回 親睦ボウリング大会

平成29年3月4日(土)

厚生部



●個人総合の部

優勝	平川 達也(創企株)
準優勝	北岡 理奈(創企株)
第3位	宮本又規子(創企株)

●個人女子の部

優勝	北岡 理奈(創企株)
準優勝	宮本又規子(創企株)
第3位	塩田加奈子(神鋼不動産株)

●12歳以下1位… 藤塚 倅生

参加者名簿及び組み合わせ表

レノ	事務所・会社名	氏名	レノ	事務所・会社名	氏名
25	(株)盤設計	福富 緒乙	33	(株)川崎設計	川崎 史
26		中島 哲		前田信行一級建築士事務所	前田 信行
		福富 直子		(株)勇コンサルタンツ	坂本 隆
		福富 潤一		小松ウォール工業株	長川 裕
		福富 瑠依	菱電エレベータ施設株	川上 雅史	
27	赤澤 楓香	34		三好 卓治	
28	赤澤由紀子	35		小泉 光	
	塩田加奈子			小俣 匡外	
	井上 舞子			創企株	平川 雅勝
高良 剛史	平川 喜則				
29	藤塚 倅生	平川 明宣			
30	朝日共同設計(有)	谷 祐太郎	有本 健吾		
	エスケー化研株	高田 昌之	36	平川 達也	
		藤谷 章	37	肥田木義信	
31	山根 佳恵	町野 雄大			
	(株)アーキノヴァ設計工房	柏本 保		芳野 美香	
	(株)北村鉄工所	尾添 泰弘		宮本又規子	
32	(株)神戸清光	北村 憲司	富永 紘子		
	文化シャッター(株)	今田 貴光	北岡 理奈		
		谷向 康裕			
磯崎 泰良					
		大伴 樹			

カメラ講習会

広報部

アプローチでのフォトコンテストも回を重ねるごとに皆さんのスキルアップが感じとられるようになって参りました。今一度基本的なことから学び、より良い写真が撮影できるよう、この度カメラ講習会を開催しました。

阪神支部からも3名の方が参加され17名で5回の講習を行いました。

非常に出席率もよく講習後の懇親会も和気あいあいと楽しく写真について語ることが出来たのではないのでしょうか。また次年度も機会があればカメラ講習会を開催したいと考えていますので興味のある方は是非ご参加ください。



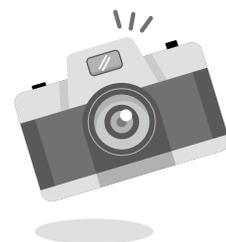
(一社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部 2017カメラ講習会 参加者名簿
2017年9月8日(金)～

(敬称略)

支部	NO	事務所名	名前	支部	NO	事務所名	名前
神戸	1	徹建築設計事務所有限会社	岡田 徹	神戸	10	小松ウオール工業株式会社	長川 裕
〃	2	一級建築士事務所プラーマ190	竹中 郁雄	〃	11	株式会社東洋工業	稲垣 謙一
〃	3	前田信行一級建築士事務所	前田 信行	〃	12	K・S・C一級建築士事務所	吉田 康裕
〃	4	株式会社創建設計事務所	佐川 圭	〃	13	三和シャッター工業株式会社	三原 芳之
〃	5	株式会社川崎設計	川崎 史	〃	14	有限会社シミスワークス&アソシエイツ	志水 保次
〃	6	株式会社アーキノヴァ設計工房	柏本 保	阪神	15	株式会社笠谷工務店	大西 沙知
〃	7	株式会社北村鉄工所	北村 憲司	〃	16	APEX設計	渥美 充広
〃	8	建築計画寶谷	寶谷 勝馬	〃	17	APEX設計	中土井亮太
〃	9	スペースプロ一級建築士事務所	岡田 俊彦		講師	大阪ガス	平井 保夫

参加者数

1	2 (撮影会)	3	4	5
9月8日	9月10日	9月19日	10月17日	10月26日
12名	6名	15名	13名	13名



同好会だより

●KJ会 (ゴルフ同好会) 【会長：為金清人 幹事：水野政博、八木啓祐】

ゴルフ同好会は、雨にも負けず風にも負けず、楽しくコンペを行っています。ゴルフを始められた方、久し振りにプレーしたい方、新しく入会された方々も、ご連絡をお待ちしております。

第171回より新世話人により運営をおこなっています。引継ぎ宜しくお願いします。

◆第195回 H29.4.25 (城山ゴルフ倶楽部)
..... (参加者12名)

優勝	2位	3位
松本 正彰	吉田 康裕	前田 信行



◆第196回 H29.6.27 (チェリーヒルズゴルフクラブ)
..... (参加者11名)

優勝	2位	3位
志水 保次	野村 幸治	吉田 康裕



◆第197回 H29.9.16 (やしろ東条ゴルフ倶楽部)
..... (参加者9名)

優勝	2位	3位
志水 保次	八木 啓祐	前田 信行



◆第198回 阪神支部60周年ゴルフコンペ合同開催
H29.12.6 (チェリーヒルズゴルフクラブ)
..... (参加者25名)

優勝	2位	3位
渥美 充広	中村 彦士	吉田 康裕

●KM会 (麻雀同好会) 【幹事：前田進一】

麻雀同好会は娯楽を目的に楽しく開催されており、久しぶりに麻雀される方が多数です。麻雀の初心者などもご遠慮なく参加してください。



参加者	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	合計	順位
屋典秀	+1200	-1700	+3000	-700	+1500	4位
植松 實	+1200	+1200	+1500	+1200	+5100	2位
角村和良	+1100	+1100	+1100	+1100	+4400	3位
澤原雅典	-1200	+1200	+1200	+1200	+1400	8位
辻俊夫	+1200	+1200	+1200	+1200	+4800	6位
大原茂明	+1200	+1200	+1200	+1200	+4800	6位
榊井 弘	+1200	+1200	+1200	+1200	+4800	6位
前田進一	+1200	+1200	+1200	+1200	+4800	2位

◆第49回 H29. 7. 1開催・・参加人数8名

優勝	準優勝
榊井 弘	前田 進一

◆第50回 H29.10.28開催・・参加人数4名

優勝	準優勝
植松 實	屋 典秀

同好会だより

●トレッキング同好会【会長：柏本 保 幹事：前田 信行】

自然観察をしながら日頃の運動不足やストレスを解消しませんか？会員同士の情報交換や親睦も深めて頂きたいとも願っております。また、この会への入会手続きは特にありません。家族、社員の参加也大歓迎です。多数の参加をお待ちしております。

◆第6回 H29.5.20・・・・・・・・・・(参加者14名)

六甲縦走大会コースの第3回目です。

新神戸駅を出発し、市ヶ原～稲妻坂～摩耶山～杣谷峠～三国池～ケーブル山上駅～ケーブル～ケーブル下駅の約12.5Kmを歩きました。

行程概略

集合場所・時間／新神戸駅集合／8：30(時間厳守)

予定工程／9：00新神戸⇒10：15市ヶ原⇒12：30摩耶山にて昼食 13：15⇒14：30三国池

⇒15：20ケーブル山上駅⇒ケーブル⇒15：30六甲ケーブル下にて自由解散。バス等で各駅へ

第6回トレッキング同好会参加者名簿

(順不同・敬称略)

番号	事務所・会社名	出席者名	番号	事務所・会社名	出席者名
1	(株)アーキノヴァ設計工房	柏本 保	9	大和技研(株)(阪神支部)	松本千恵子
2	前田信行一級建築士事務所	前田 信行	10	同上	井出 立也
3	徹建築設計事務所	岡田 徹	11	同上	井出 正一
4	(株)黒田建築設計事務所	石田 邦夫	12	(株)アルファ工房(姫路支部)	田口 俊治
5	三和シャッター工業(株)	三原 芳之	13	ムツミ商事(株)(姫路支部)	島津 秀伸
6	一級建築士事務所(有)未来工房(明石支部)	小村 敏夫	14	(株)川崎設計	川崎 史
7	(有)藤田設計(明石支部)	藤田 一博			
8	同上	藤田 起子			



布引の滝にて

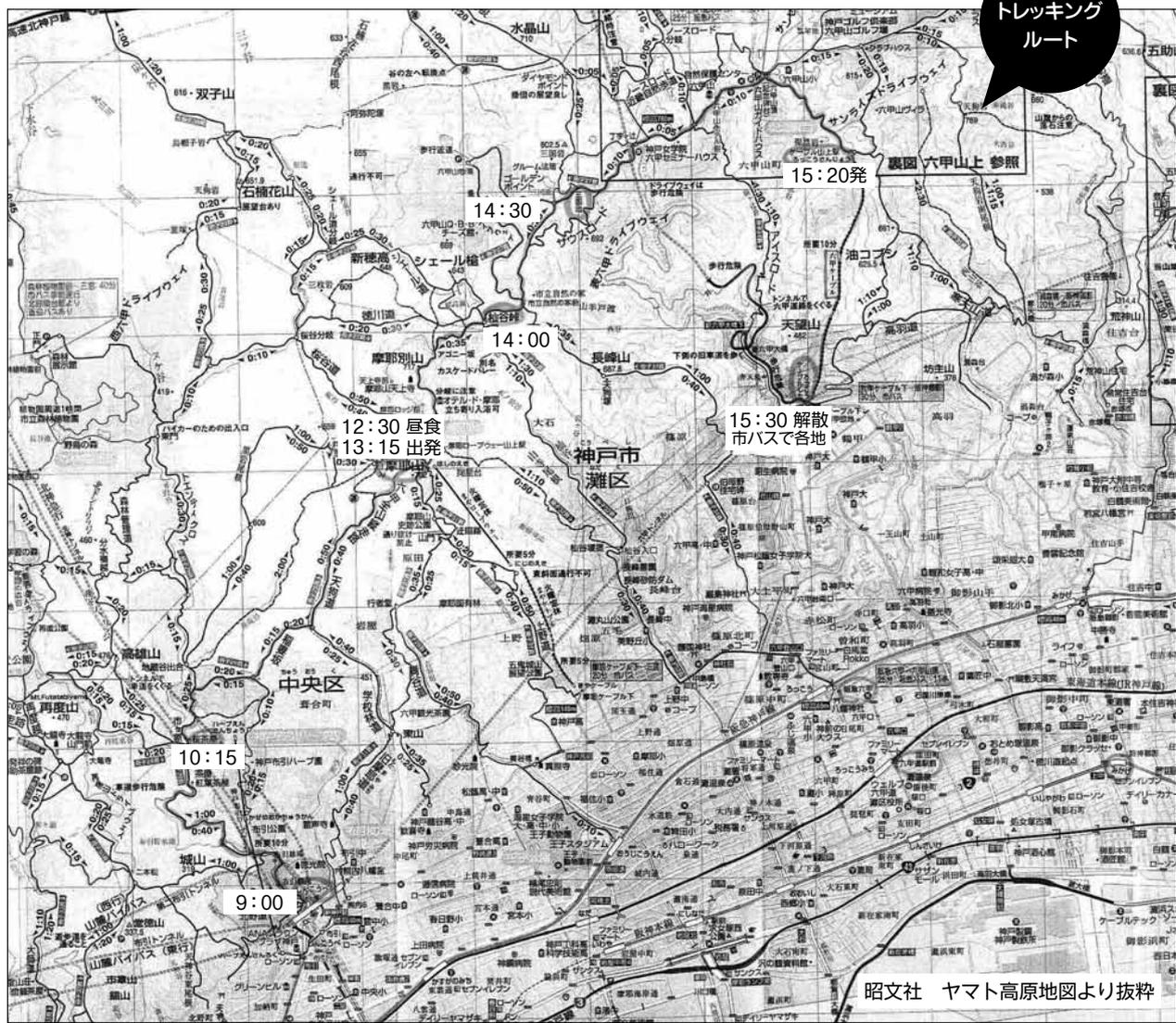


布引貯水池



黒岩尾根道にて

トレッキング
ルート



昭文社 ヤマト高原地図より抜粋



掬星台にて



掬星台から大阪方面を望む



六甲ケーブル山上駅



六甲ケーブルにて

同好会だより

◆第7回 H29.11.23・・・・・・（参加者18名）

六甲山系の西（塩屋）から東の端（宝塚）まで50数キロの六甲全山縦走大会走路をシリーズ4回に分けて踏破してきましたがいよいよ最終回（4回目）は六甲ケーブル山上駅～一軒茶屋～船越峠～宝塚駅までの約17Kmを歩きました。シリーズの踏破者6名に踏破証明証を発行させていただきました。おめでとうございます！

行程概略

集合場所・時間／阪急六甲駅集合／8：30（時間厳守）

予定工程／8：30阪急六甲駅集合⇒（バス）⇒六甲ケーブル下駅⇒（ケーブル）⇒六甲ケーブル山上駅
⇒一軒茶屋にて昼食 12：00⇒13：00船越峠⇒15：50宝塚駅にて自由解散

第7回トレッキング同好会参加者名簿

（順不同・敬称略）

番号	事務所・会社名	出席者名	番号	事務所・会社名	出席者名
1	(株)アーキノヴァ設計工房	柏本 保	10	大和技研(株)(阪神支部)	坂上 真行
2	前田信行一級建築士事務所	前田 信行	11	(株)アルファ工房(姫路支部)	田口 俊治
3	(株)川崎設計 (ツムギ住研(株)一級建築士事務所)	川崎 史	12	一級建築士事務所 (有)未来工房 (明石支部)	小村 敏夫
4	三和シャッター工業(株)	三原 芳之	13	一般	三宅 尚美
5	シミズワークス&アソシエイツ	志水 保次	14	一般	岩本 美幸
6	小松ウォール工業(株) 神戸支店	長川 裕	15	一般	藤田 由子
7	APEX設計(阪神支部)	渥美 充弘	16	一般	女性
8	大和技研(株)(阪神支部)	松本千恵子	17	一般	女性
9	同上	井出 立也	18	一般	女性



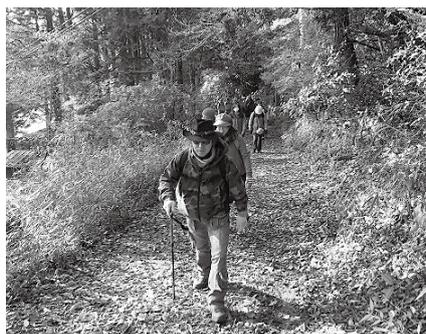
六甲ケーブル



ケーブル山上駅展望台にて



みよし観音像前にて

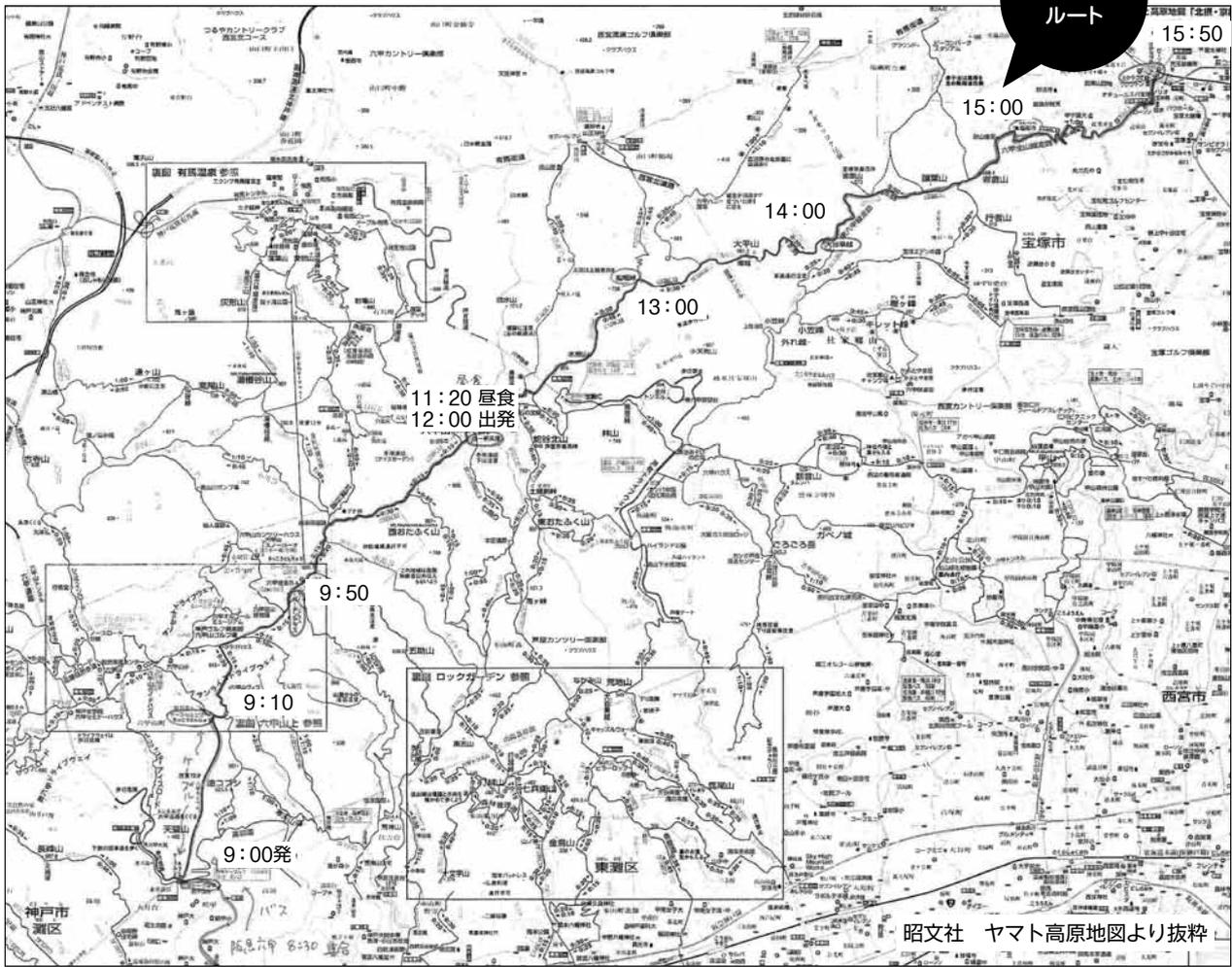


落ち葉の上を進む



六甲ガーデンテラスにて

トレッキング
ルート



六甲山最高峰にて



六甲山頂～宝塚



宝塚を望む



急斜面



宝塚ゴールにて



踏破証明書

神戸支部トレッキング同好会に参加して

明石支部 一級建築士事務所有限会社 未来工房 小村 敏夫

1. 参加したきっかけ？

常々、私たちの仕事は「体が資本！」と感じています。特に「脳細胞」と「足腰」この2点だけは絶好調にしておかないと、建築を考えることも、現場の足場に上ることに影響すると感じるからです。



長峰山頂にて

他の部分？ たとえば、腹が多少出ていようが、何かを思い出すのに時間がかかろうが、新聞の文字が気になりだしても、仕事には大きく影響しないと思うからです。だから私は、毎朝、愛犬のピーグルを連れて人丸神社の西坂の階段を上がり、朝日に輝く明石海峡、天文科学館のまわり屋根を背にラジオ体操をして各筋肉をほぐし同神社の東坂階段を下りて、NHKの朝の連ドラの始まる時間を気にしながら、犬に引っ張られて電柱ジグザグ歩きをしています。

「神戸支部 トレッキングのご案内」のメールを見て「思い切って参加してみよう！」と思ったのも、見慣れた町内の散歩からもう少し長時間の違った景色、それも六甲全山縦走大会走路を数回に分けて踏破する・・・これだったら初心者程度の脚力の私でも歩けるかな？と思いました。

2. 六甲山トレッキングの魅力？

六甲山トレッキングは、木々に囲まれた新鮮な空気を吸うことだけでも気持ちがいいのですが、疲れた頭の中をスッキリさせるには最適です。

山道ならではの急な勾配を登ったり下ったりを繰り返すうちに、バランスを崩して滑らないよう足とポールを握っている手だけに集中するため、頭の中は「何も考えない状態」が続きます。時折、眼下に見える神戸の街と大阪湾の青い海のパノラマが現実世界に引き戻し、いい時間！を意識します。思わず立ち止まって写真を撮ってしまいます。

また靴から伝わる土の感触が心地よくて、自然木の根が縦横に露出した間に落ち葉の重なり合った弾力感のある山道は、なぜか人の心を優しくしてくれます。



阪急宝塚駅にて



天王吊り橋にて



六甲ケーブルにて

3. ゴールの後の楽しみ？(トレッキング+生ビール+温泉=健康?)

トレッキングの後は、ヨレヨレの足で下界に戻り、みんなで生ビールで乾杯することがおきまり？になりました。

特に第5回目のコースの高取山から菊水山の頂上を目指して、心臓破りの急な階段を登りきった後のビールの味は、今でも忘れられません。

ゴールが有馬の時は、有馬温泉で体をほぐしたことも昨日のようによみがえります。

第7回目の六甲山頂から宝塚コースの時は、偶然にも六甲全山縦走大会と同一日で、私は4回分割の完走でしたが阪急宝塚駅では「56Km完走おめでとうございます！！」と垂れ幕が迎えてくれ(ビールで少し酔ってた勢いで)記念撮影をしていただきました。そのあと安藤忠雄が設計した「宝塚温泉」の湯の中では改めて塩屋から宝塚までの4回のコースの思い出が身も心も温めてくれました。



菊水山山頂にて

4. トレッキング同好会に参加して変わったこと？

「歩くこと」が苦にならなくなり、ゴルフ場でもカート車よりフェアウェイを自分の足で楽しむ？ようになりました。またエレベータより階段を利用するようになりました。

5. トレッキング同好会に参加したことがない会員及び賛助会員の方へ！

神戸支部の同好会の幹事の方々は、経験と知識が豊富で綿密な計画と準備のもとに参加者の体力を考慮した案内をされておられることが歩行中に十分に伝わってきました。



保壘岩にて。

全7回中、誰も道に迷うことも無く安心して山道を歩きました。何度も休憩タイムをとられることにより大切な「水分の補強」も適切でした。チューブをギュッと押すだけで口に入る「スポーツようかん」によるエネルギーの補強も有り難いものでした。

最後に神戸支部の皆さまの行きつけで東門筋にあるスナック「YOU」の美人ママには女の子3人と共に第7回目コースの六甲山頂から宝塚までの山道を同伴していただきました。「この記事を読んだ!」とママに伝えれば、誰でもサービスが受けられるようです！

●神戸市すまいとまちの安心支援センター共催事業●

第24回 なた桜まつり

日時：平成29年4月1日（土） 10：00～15：00

場所：都賀川公園（区民ホール東側及び南側 山手幹線～神若線）

灘区地区別連絡協議会 成瀬 秀一

1. 主催等

主催 なた桜まつり実行委員会

協賛 神戸灘ライオンズクラブ、兵庫県国民年金基金、灘区社会福祉協議会、都賀川を守ろう会

◇来場者 約15,000人

2. 開催趣旨

- ・「ちょっと気配り灘のまち」区民運動の一環として位置付け、その関連の行事として実施する。
- ・例年通り、区民の手づくりのまつりであることを基本とする。



設営風景



アンケート風景



アンケート風景



アンケート風景



ゲーム風景



ゲーム風景

● 神戸市すまいとまちの安心支援センター共催事業 ●

第21回 灘ふれあい秋まつり住宅相談会

日時：平成29年10月14日（土） 10：00～15：00

場所：都賀川公園・灘区民ホール

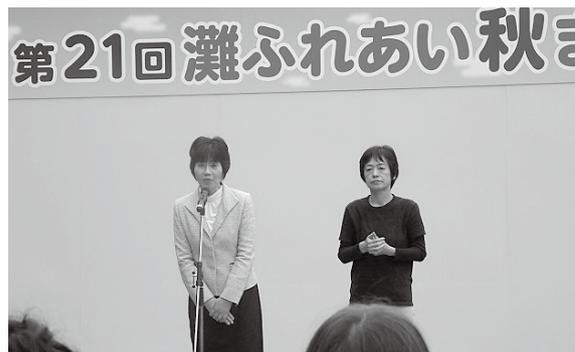
灘区地区別連絡協議会 成瀬 秀一

当日は一時的な小雨もあり、少し肌寒い天気ではあったが、皆様の協力で無事に終了することが出来ました。

今回集客のために、すまいるネットが用意されたのは、「すまいるネットを知っていますか?」という3択クイズであった。

神戸市から各戸へ配布の広報こうべ・自治会の掲示板・地下街のポスター・駅構内の掲示板等、目にする機会が多いことから、7割近くは正解が得られるものと思っていたが、意外と知られていないことに驚いた。

はずれた人にも、正解に導きながら、家具固定と耐震診断の話をした。



第21回 灘ふれあい秋まつり
 平成29年 10/14(土)
 10:00~15:00
 会場 都賀川公園・灘区民ホール 1階ロビー

健康・介護の相談、年齢別の測定などを実施します(無料)
 10:00~ 介護予防啓発コーナー
 12:00~ 老いじたく(終活)・遺言などの相談
 13:00~ 健康度測定
 ● 若年高血圧
 ● 背骨歪み・下肢筋力チェック
 13:30~ 健康・薬・歯・介護の相談

都賀川公園の出し
 ● ステージ
 ● 子どもの遊びブース
 ● PR・啓発ブース
 ● 模擬店・ハサー

牛乳パック20枚をお持ちください
 花の缶一鉢と交換します
 各一人様10鉢まで

広げよう! 東日本・熊本復興支援の輪
 東日本・熊本の物品販売 9/24(日)10:00~12:00 灘区民ホール1階ロビー



KOBE



耐震で安心

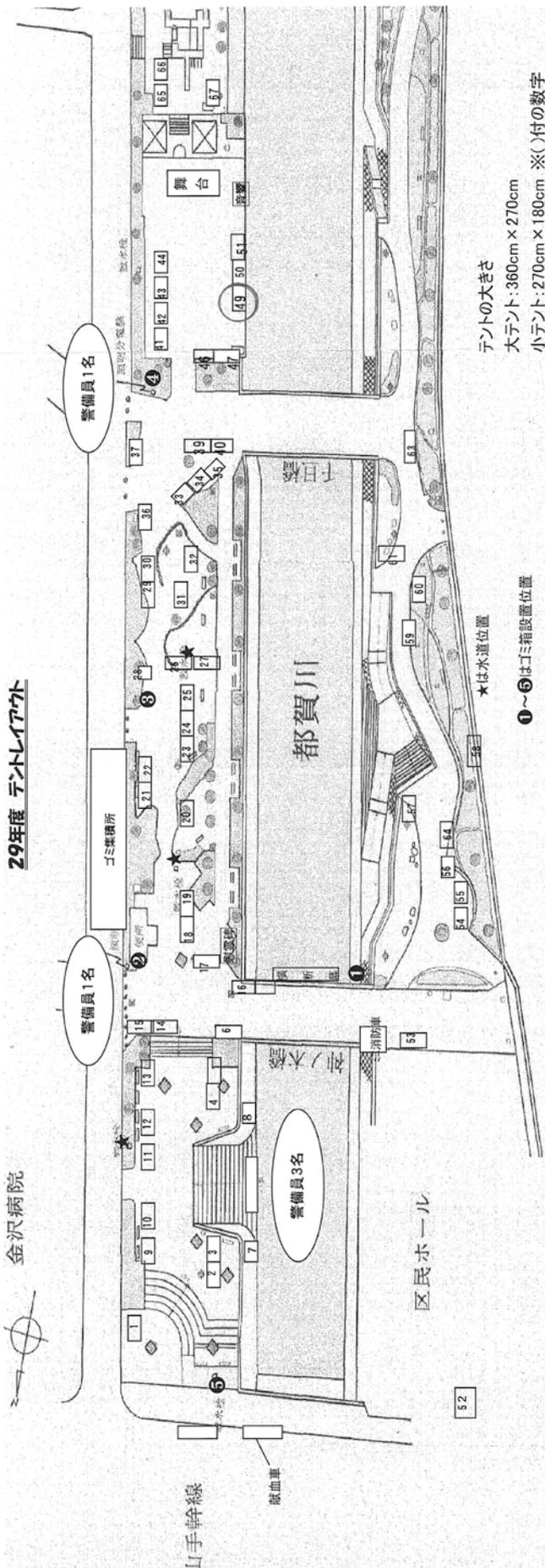
すまいの耐震化促進

神戸で

1981年5月以前に建てられた旧耐震基準の戸建住宅にお住まいの方。今後、高い確率で発生するであろう**南海トラフ地震**が起こる前に、**耐震改修**を行いましょ。まずは、**無料の耐震診断**から。

神戸市 住居都市局
神戸市すまいとまの安心支援センター





テントの大きさ
大テント: 360cm x 270cm
小テント: 270cm x 180cm ※() 付の数字

★は水道位置
①～⑤はゴミ箱設置位置

団体PR・啓発ブース ※は初参加団体

テントNo	団体・グループ・業者名
1	漕交通安全協会 一般社団法人 漕自家用自動車協会
2, 3	神戸ライフインクスクラブ
4	公益社団法人 漕納税協会 漕納税貯蓄組合連合会
(46)(47)	近畿税理士会 漕支部
(48)	神戸市環境局事業部 漕事業所
(49)	神戸市すまいるまちの安心支援センター (一社) 兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
(50)	都賀川を守る会
59, 60, 61	兵庫県自動車整備協会 神戸支部

北ステージ(パワーマンスステージ)

テントNo	団体・グループ・業者名
7, 8	(株)神戸製鋼所

飲食模擬店ブース

テントNo	団体・グループ・業者名
6	漕中央地区民生委員児童委員協議会
9B	漕中央婦人会
10A	五毛婦人会

飲食模擬店ブース

テント No	団体・グループ・業者名
10B	摩耶婦人会
11A	上野婦人会
11B	なぎさ婦人会
12A	藤原上婦人会
13A	原田婦人会
13B	都婦人会
14	漕区徳科医師会
15	特定非営利活動法人ボレロ
17	生活協同組合コープこうべ コープ漕庫-コープ鶴甲
18, 19	神戸菜生会
20	漕区自治会連絡協議会
21	神戸市手をつなぐ育成会漕支部
22	漕区肢体障害者福祉協会
23	特定非営利活動法人マイイ六甲 未来をひらく、マイイ六甲
24	(社)漕水の芽福祉社 六甲倶楽部
25	漕チャレンジ実行委員会
26, 27	サポートステージン漕・つどいの家、いそいそ工イト

子どもの遊びブース

テントNo	団体・グループ・業者名
29	KOBE 在宅ケア・ボランティアグループほほえみ漕班
(30)	漕区聴覚言語障害者福祉協会 & 漕手話の会
31(32)	漕区老人クラブ連合会
(33)(34)	漕区子ども会連合会
36	西漕こどもと楽しみ隊
54	漕区児童館
55	漕区公立保育所
(56)	神戸市地域子育て応援プロジェクト 漕区地域活動支援コーディネーター
(57)	漕区共同募金委員会
(64)	神戸海星女子学院大学
(68)	漕区更生保護女性会
(97)	KOBEISM

パザールブース

テントNo	団体・グループ・業者名
(16)	漕区連合婦人会
(28)	つどいグループひまわり
(95)	グループホーム六甲 ほほえみクラブ

パザールブース

テントNo	団体・グループ・業者名
(39)	ささりサークル士の会
(40)	(社)福新婦福社 ワークセンターいわや
(41)	上河原婦人会
(42)	藤原婦人会
(43)	高羽婦人会
(44)	八幡婦人会
63	『つながろう日本』神戸大学生 + KOBEISM

その他

テントNo	団体・グループ・業者名
(51)	本部
52	兵庫県赤十字血液センター
53	漕消防団
65, 66, 67	ステージ出演控テント

● 建築士による住宅無料相談会 ●

平成29年度 建築士事務所キャンペーンを終えて

日時：平成29年11月11日（土） 11：00～17：00

場所：須磨区飛松町 板宿本通商店街内

副支部長 藤澤利行

平成29年11月11日（土）、会場は、今年も「板宿商店街」の本通りで、板宿本通商店街振興組合のご協力をいただき、建築士事務所キャンペーンを開催いたしました。今回も、悪徳リフォームの撲滅の為の啓蒙活動に兵庫県警察本部が、参加してくれました。



11月2日の夕方には、会員・賛助会の方々にお手伝いをいただきました。お忙しい中、どうもありがとうございました。

当日は、朝から暑くも寒くもなく、天候に恵まれました。神戸市・神戸市住まいの安心支援センター・板宿商業連合会の後援を頂き、「安全・安心なすまいをもう一度見直しませんか？」をテーマに、マンションの大規模修繕工事、住まいの耐震補強・省エネルギー関連・バリアフリー・リフォーム・シックハウス・空き家対策等建築全般に関する相談会（無料）とパネル展示、会員作品展を行い建築士の必要性を啓蒙し、今一度、建築士による「建築設計・工事監理」がいかにか大切かを市民の皆様理解していただき、建築士を身近に感じてもらいたく開催いたします。

会場は、商店街のアーケードの下の道路上で支部会員の建築作品パネル、欠陥住宅のパネル、各種パンフレット等々を展示、配布をし、昨年も好評でした写真フレームの製作を建築相談・アンケート記入等の子供たちの待ち時間と利用して、賛助会員の方々の協力を頂き開催し、たくさんの皆様に立ち寄って頂きました。



オキールファミリーのグッズや賛助会員の方々から協賛いただきましたグッズも配布できました。

今回も、オキールファミリーの博士以外の着ぐるみとも共演でき、子供たちや若い女性の方々は大喜びで、知名度が多少は上がったかなと思われ
ます。



今年は、賛助会用の展示ブースを設ける事が出来ませんでした、次回の開催では充実した展示ブースを考えるべきと反省しました。



これからも設計事務所キャンペーンや、耐震キャンペーンなどを通じて、無料耐震診断制度、家具の固定、補強金物や耐震補強工事の説明、空き家対策の相談、省エネルギー住宅の必要性の理解などを行い、このような催し物の回数や場所を少しでも増やし、われわれ建築士事務所が身近な存在である事のアピールなど、地道な努力と建築に関する他の団体との協力が大切かなと感じました。

最後に、開催の準備・運営にご協力いただきました会員・賛助会員並びに関係各位に心より御礼申し上げます。



新 入 会 員 紹 介

【正会員】

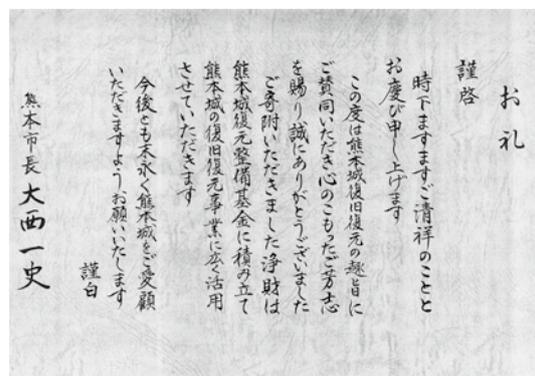
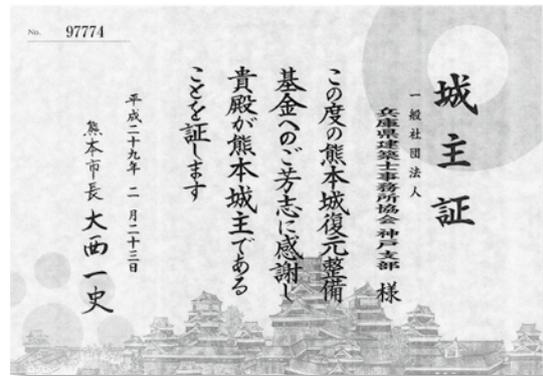
支部	氏名	年齢	事務所名	所在地／TEL／FAX	備考
神戸	やまだ とおる 山田 亨	37	兵庫住宅検査	〒651-0087 神戸市中央区御幸通6丁目1-3 山田ビル4F TEL：090-9744-6435	開設者 兼 管理建築士
	E-mail：h.i.hyogo.yamada@gmail.com				
神戸	あべ ひろあき 阿部 宏明	62	(株)結結	〒653-0862 神戸市長田区西山町4丁目13-6 TEL：078-641-3032 FAX：078-641-3006	開設者 兼 管理建築士
	E-mail：h-abe@eos.ocn.ne.jp				
神戸	ますくら こうぞう 増倉 幸三	62	(株)MTK 神戸支店	〒651-0096 神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル7F C3号室 TEL：078-242-6738 FAX：078-242-6737	管理建築士
	E-mail：kobe-info@m-tk.co.jp				
神戸	せご ひろかず 世古 平和	70	一級建築士事務所 (株)関西建物診断センター	〒657-0066 神戸市灘区篠原中町2丁目2-15 TEL：078-871-3832 FAX：078-871-3836	開設者 兼 管理建築士
	E-mail：kansai-tsc@theia.ocn.ne.jp				
神戸	かわだ おさむ 川田 靖	46	川田靖建築設計事務所	〒651-2276 神戸市西区春日台9-11-58 TEL：090-9626-5970 FAX：078-961-6187	開設者 兼 管理建築士
	E-mail：o-kawada@outlook.jp				
神戸	ふじもと ましかず 藤本 喜一	50	(株)綜企画設計 神戸支店	〒650-0033 神戸市中央区江戸町104 江戸町104ビル501 TEL：078-325-1536 FAX：078-325-1537	管理建築士
	E-mail：kobe@soukikaku.co.jp				
神戸	かわさき ふみと 川崎 史	57	ツムギ住研株式会社 一級建築士事務所	〒657-0832 神戸市灘区岸地通5丁目1番4号 真幸ビル3階 TEL：078-802-2641 FAX：078-802-2642	所属先変更
	E-mail：kawasaki@tsumugi-home.com				

【賛助会員】

支部	名 称	代 表 者 名 (担当者名)	所在地／TEL／FAX	業 種
神戸	第一基礎設計(株)	永田 文英 (永田 圭佑)	〒532-0005 大阪府大阪市淀川区三国本町 1丁目5番36号	とび、土工工事業
			TEL : 06-6396-0639 FAX : 06-6395-6900	
E-mail : info@d1ks.co.jp				

お知らせ

当支部より熊本城再建に伴う寄附に対して熊本市長より「城主証」が届きました。
神戸支部からの寄附は、10万円です。



作品介绍



『ろっこう ARIMA 保育園』は阪急六甲駅から3分程度南に下った住宅街に建つ、今年3月に竣工した定員60名の保育所である。当該地は敷地三方をワンルームマンションや戸建て住宅に挟まれた間口が極端に狭い長方形の矮小敷地である。

建物配置は各居室の採光上の必要性からセンター部分に光庭を配置し、両サイドの保育室等居室を廊下・階段部分で繋ぐ『この字プラン』としたが、建物は東側のメイン道路からの一面しか姿が見えず、建物の全容を外部から見る事ができない。

したがって、メイン道路沿いのファサード部分を地域のランドマークとすべくインパクトのあるデザインにする必要があった。

ファサード部分は全般的に凹凸のある75角のデザインタイルをベース仕上げとし、屋上パラペット立ち上がり部分はスマイレ色の連続した半円をモチーフとした吹付タイル仕上げとし、そのコントラストを強調し、地域に根差した保育園となるように親しみと愛らしさを感じられるデザインとした。



設計監理/株式会社 アーキノヴァ設計工房
物件名/ろっこう ARIMA 保育園
建築場所/神戸市灘区八幡町
竣工/2017年3月
構造/RC造
規模/地上3階建て
延べ面積/389.63㎡

作 品 紹 介



トヨタカローラ神戸(株) 神戸北センター店【地域拠点となる店づくり】が、計画段階からのメインコンセプトであった。そのため、計画敷地は、神戸電鉄岡場駅の東側約50m、県道神戸三田線（有馬街道）の交差点に面し、建物間口が広く確保できる自動車ショールームとしては絶好の場所で位置する。

平面計画においては、メイン道路沿いに1階のショールーム間口を約40mが確保できるため、ショールームのセンターにシンボリックなキッズコーナーを配置し、両サイドを5台の車展示スペースとした。

またショールーム背面に並列に配置した整備工場は、街角のレストランをイメージしデザインしたコミュニティスペースから、窓越しに整備中の車を見ることが出来る計画とした。

2階に設置した100人収容の会議室は区画することにより、地域住人に開放できる空間とし、地域密着型店舗を目指した。

設計監理／株式会社 アーキノヴァ設計工房

物件名／トヨタカローラ神戸(株)

神戸北センター店新築工事

建築場所／神戸市西区有馬中町1丁目

構造／鉄骨造

規模／2階建て

延べ面積／1,628.44㎡



作 品 紹 介



設計監理 / 株式会社 瀬戸本淳建築研究室
物件名 / ワコーレ明石レジデンス・エア
施 工 / 株式会社 ノバック
建築場所 / 明石市樽屋町
工 期 / 平成27年3月～平成29年11月
構造規模 / RC造 地上15階
建築面積 / 319.89㎡
延べ面積 / 3,618.01㎡



開放的な地に映える佇まい。

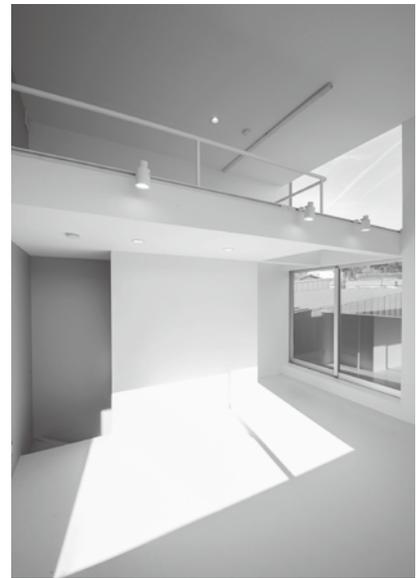
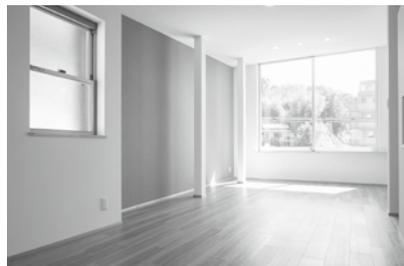
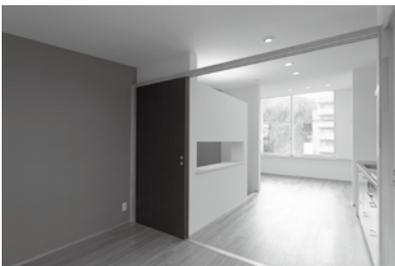
再開発で進化する明石の雰囲気をもとに、開放感あふれる場所となっている敷地です。

都会的で洗練された暮らしと、開放的な暮らしを愉しむ、爽やかでモダンなスタイリッシュレジデンスを目指しました。

明石市街地でも目立つこの場所で、街のランドマークとなる佇まいの創造に努力しました。ライトグレーとホワイトを基調にしたタイルとガラス手摺により爽やかな印象を与えています。



作品紹介



シングルタイプ2住戸、ファミリータイプ2住戸、それぞれ異なる建築家による設計の集合住宅。地元の大学である、神戸芸術工科大学との共同リサーチにおいて分析した街の文脈を反映させ、石垣や住戸のスケール等の街並を継承しながらも、現代の賃貸住宅の需要を満たす、個性的なデザインの集合住宅を目指した。

シングルタイプは吹抜けやロフトを設け、垂直方向に伸びやかなプランに、ファミリータイプはデッキとLDKの一体的な空間による水平方向に伸びるプランに、2名の建築家がそれぞれ設計を行った。

いずれの住戸も個性的でありながら、全体では1つにまとまった集合住宅として仕上がった。

設計監理／大和船舶土地一級建築士事務所

設計組織アルキメラ

有限会社ランドサット

物件名／Y' s house 禅昌寺XI

施工／株式会社 住信

建築場所／神戸市須磨区禅昌寺町1丁目

工期／2013年8月から2014年3月

構造／木造

建築面積／106.35㎡

延べ面積／187.46㎡

作 品 紹 介



経済性最優先で敷地一杯に建てる一般的な賃貸住宅とは対照的に、まちや周辺住戸とのつながりを感じながら、戸建て感覚で住まうことのできる新築4住戸の提案。

外部には路地や庭のようなゆとりある空間を作り、住民も地域住民も活用できる開かれた場を設けた。

また、2階には共有のデッキテラスを設け、住民同士の交流のきっかけを生み出す場とし、様々な「つながり」を意識して住まうことができる。



設計監理／大和船舶土地一級建築士事務所
有限会社ランドサット

物件名／Y's house 禅昌寺 12

施 工／株式会社 住僖

所 在 地／神戸市須磨区禅昌寺町1丁目

工 期／2014年10月から2015年2月

構 造／木造

建築面積／A35.38㎡

B24.82㎡

C29.25㎡

D28.10㎡

延べ面積／A54.65㎡

B49.64㎡

C54.30㎡

D51.88㎡



作品紹介



設計監理／株式会社 創建設計事務所

物件名／日新信用金庫 魚崎支店

施工／株式会社 明和工務店

建築場所／神戸市東灘区魚崎南町7-7-7

竣工／平成29年7月

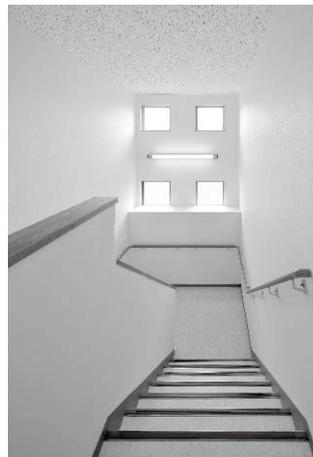
構造／RC造地上3階

延べ面積／451.32㎡



国道43号線、阪神高速道路3号線に面する、日新信用金庫魚崎支店の建替え工事です。

車道側には緑地帯と防音壁があり、車で通るとファサードが見えるのは一瞬ですが、レンガタイルと垂鉛メッキ鋼板リン酸処理のパネルそして黒いモザイクタイルのコントラストで重厚かつモダンになるようデザインしました。



作品紹介



外観。東側交差点から見る。



1階倉庫からペントハウスに曲線の階段が伸びる。



2階オフィス。トップライトと丸窓からのリフレクション。

設計監理／一級建築士事務所YURI DESIGN

物件名／高山商店東大阪営業所

施工／西友建設株式会社

建築場所／大阪府東大阪市楠根2丁目

工期／設計2016.2～2016.9

監理2016.10～2017.10

構造規模／鉄筋コンクリート造2階建て

建築面積／212.22㎡

延べ面積／407.43㎡

【コンセプト】

塗料の卸し販売会社の配送倉庫兼事務所。

東の交差点から進入する4t車は、敷地内を一方通行で南の道へと転回できるよう、建物はその軌道に合わせて楕円形の平面を持つ。1階は倉庫。2階は事務室。屋上は、憩いの場として、樹木や草花で緑化し、散歩できる。

周囲のプランターに植えられたつる植物は、外壁に伝って外観に優しさを与えることを期待して。



屋上庭園。様々な種類の植物が植えられた。

作品紹介



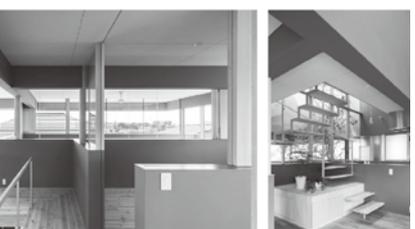
閑静な住宅地に建つ専用住宅である。新しく造成された住宅地はとれといった特徴が多くなく、周辺の住環境との関係性を考えながらプランニングするとが難しいと感じた。そこでプランニング自体が周辺の平凡な住環境の見え方を調停するような空間づくりを考えた。

まず1階に必要な諸室を「腰カベ」により間仕切りながらプランニングを行い、その上で2階に必要な諸室を同じく「腰カベ」により間仕切りながらプランニングをする。

2階の「腰カベ」はそのまま1階の「垂カベ」となり、1階のプランニングに影響を及ぼす。同じく必要な屋根の区画を2階の「垂カベ」として造り、2階のプランニングに影響を及ぼす。それぞれの階のプランニングから生まれた「垂カベ」と「腰カベ」はお互いに影響し合いながら空間を仕切り、「腰カベ」だけでは生まれなかった新しいスペースや空間の分節が生まれる。複雑に影響し合う「垂カベ」と「腰カベ」は建物内部だけでなく屋外、ひいては敷地を飛び越えて意識を延長させるととて、トリミングされた周辺の住環境は平凡なものに見えなくなった。住宅地にありがちな敷地区画の中に閉じたプランニングではない、新しい空間の境界を提案している。



設計監理／株式会社 y+Mdesignoffice
 物件名／垂カベ/腰カベ
 施工／株式会社 コハツ
 建築場所／神戸市垂水区舞多間西
 工期／10ヶ月
 構造／木造地上2階建
 建築面積／132.27㎡
 延べ面積／189.11㎡
 撮影／笹倉洋平



●●●「作品紹介」の募集と展示のご案内について●●●

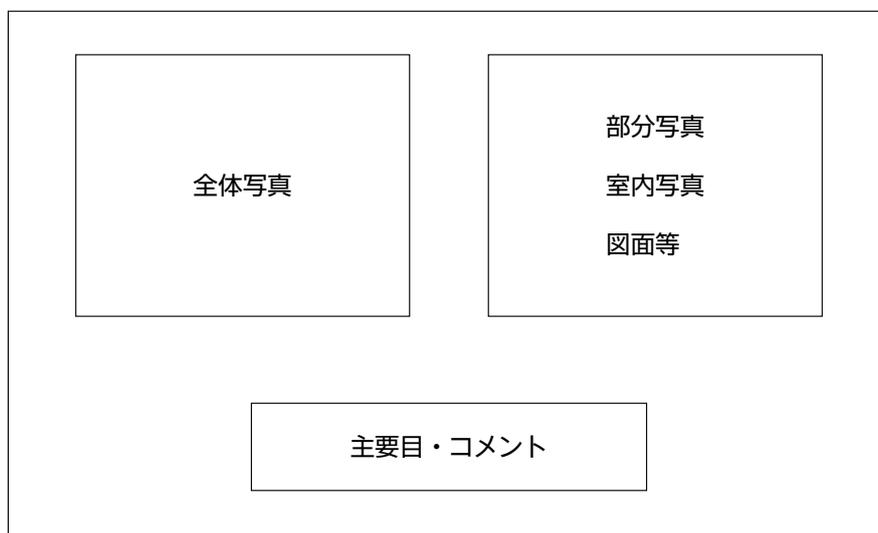
標記について、「作品紹介」を下記の展示・掲載のために、会員の皆様から募集しますので、応募要領により奮ってご応募下さい。

I 「作品紹介」募集について

1. 応募作品の内容

建築物を対象とし、下記の要領で纏めた作品とします。

写真と主要目・コメントを下図(例)のようにA3サイズにレイアウトして、下記の宛先までご送付下さい。



①写真配置は例示したもので複数枚でも可です。

②机上自立展示又は壁に吊り掛け展示になりますので、当方で用意するA3透明硬質ビニール製カードケースに入れて展示しますので、挿入出来るものとします。(カラーコピーで可)

主要目・コメント欄には下記事項を記載して下さい。

①物件名 ②設計監理 ③施工 ④建築場所(区町まで) ⑤工期 ⑥構造規模 ⑦建築面積 ⑧延べ面積
⑨内容・コンセプト

* 応募作品は返却しません。

2. 応募作品提出先

連絡先：〒651-0088 神戸市中央区小野柄通3-1-15 鈴木ビル 大和船舶土地株式会社 宛

TEL 078-232-3131・FAX 078-232-3226/ <http://www.daiwasenpaku.co.jp>

出来るだけ展示・紹介したいので、その他にご推薦出来る展示場所がありましたらご連絡下さい。

リピートマンション大規模修繕工事

関西塗研工業株式会社 藤田 秀人



某マンションにおいて、弊社で3回続けての大規模修繕工事を請け負わせて頂く事となりましたので、ご紹介させていただきます。

大規模修繕工事とは、躯体修繕工事や外装塗替え工事、防水修繕工事等、マンションの主となる機能の回復を目的とした工事ですが、3回目となりますと居住者様も以前と比べご高齢の方が増えている事で、工事の目的が、生活の利便性の向上や防犯・安全性の向上と言った考え方を多く持っていました。

ですので、着工前には居住者の皆様からアンケートを頂戴し「今何が必要なのか」「どう言った事にお困りなのか」を十分に熟知した上で、工事を進める事が非常に重要と感じました。又、できる限り多くのご意見を頂戴する為に女性の居住者の方でも気軽にご意見を仰って頂ける環境づくりの為に、女性社員を配置する等の細やかな対応もさせて頂き非常に好評を頂いております。

ただただ一般的な大規模修繕工事を行うのではなく、時代の流れとともに居住者様の年齢層に合わせた大規模修繕工事を施工者として対応していく事が重要であると痛感しております。

工事は2018年3月まで続きますが、居住者の皆様が生活されている中での工事となりますので安全を最優先に工事を進めていき、是非4回目の大規模修繕工事もご下命頂ける様に全力で無事竣工を迎えたいと思っております。

新しいものづくりも重要ではありますが、是非リノベーションの重要性も再認識して頂ければ幸いです。



MLB 観戦

関西塗研工業株式会社 藤田 秀人

今年の夏、カルフォルニアにあるサンフランシスコジャイアンツのホーム球場にあるAT&Tパークに野球観戦に行ってきました。平日のデイゲームにも関わらずたくさんの観客がきておりすごい賑わいでした。海沿いにある球場だったので若干肌寒い感じはしましたが、日差しがとても強かった為、ゲーム終了後にはものすごい日焼けでシャワーを浴びるのに難儀しましたが、ビールを飲むには最高の気候でした。

試合は終始緊迫した投手戦となっていました。応援していたSFジャイアンツが何とかチャンスをものにし勝利してくれました。

SFジャイアンツのスター選手で捕手のPOSEY選手に再三チャンスがまわってきましたが、相手の敬遠策で一度も快音を聞く事なくゲームが終わってしまった事は少し残念です。全く知らなかったのですが、今シーズンより敬遠する際は審判に敬遠を伝えるとバッターは打席に立たず1塁に進塁するルールが適用されておりPOSEY選手のカッコイイ打席姿は4打席中最初の1回だけで後の3打席は全て敬遠だったため写真におさめる事ができませんでした。投手の肩は消耗品とよく言われますが、敬遠のたった4球程度が肩に影響を特に与えない様な気がします。ゲームをスムーズに進める為の合理主義アメリカならではの考えかもしれません。観戦客にとってはちょっと残念でしかたありません。



日本の野球と違い、選手との距離が非常に近く打球音やグローブの音、ボールの投げる音まで聞こえてきて非常に臨場感ある球場で最高でした。また機会があれば、次は是非日本人選手が所属している試合を観戦したいと思います。

11月の秋田

賛助会員 三和シャッター工業(株) 谷本 修

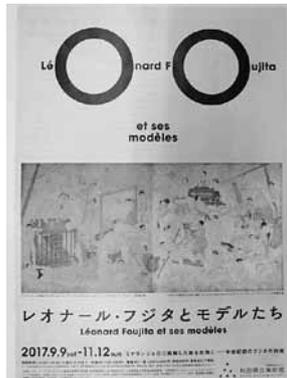
11月上旬に義母の法事の為、久し振りに秋田を訪れました。

初日に義兄夫婦と秋田駅で待ち合わせして、秋田市民市場で昼食、買い物の後、秋田県立美術館で開催中の藤田嗣治の「レオナルド・フジタとモデルたち」展を鑑賞し、大作の壁画（秋田の行事）の他、多くのすばらしい作品を楽しむことができ、更にこの美術館は安藤忠夫氏の設計で2階のミュージアムラウンジの外は水庭になっており、三角屋根の旧美術館と対峙しながら千秋公園の景色を、あたかも大壁画を見るようにくつろぐことができました。

展示場入り口には弊社の重量シャッターやドアコン（遮煙防火引戸）を採用して頂いておりました。



（秋田の行事）



妻の実家は秋田県でも豪雪地帯の美郷町（旧六郷町）にあり、関西に住む私たちには経験することの無い、家の雪囲いの取り付けを手伝いました。木枠にポリカ中空板を取付ただけの簡易な物ですが、屋根から落ちてくる雪によるガラス等の損壊や積雪の重みによるガラス等の損壊を防ぐことができるので、この時期に設置するそうです。尚、玄関部には常時設置の風除室が設置されています。出発時には緑の茗荷が帰宅時には黄色く枯れていた、5日間の旅でした。



フィレンツェ物語 (イタリア・スペインの旅)

(株)アーキノヴァ設計工房 代表取締役 柏本 保

去る平成29年9月25日(月)から10月3日(火)までの9日間、“(一社)兵庫県建築会・70周年記念海外研修旅行”の企画に兵庫県建築設計監理協会の4名の面々と共に参加させていただきました。総勢20名の参加で、御夫婦連れが多かったのですが、私はゼネコンの設計部に勤務する息子とペアでの旅となりました。

今回の研修委員長・(株)黒田建築設計事務所の石田さんの企画により、「フィレンツェに暮らすように旅をする」というテーマでフィレンツェ7連泊の企画でしたが、オプションもOK。息子と相談の上、ローマに1日、スペイン・バルセロナでの主に“ガウディの建築巡礼”の1泊2日のオプションツアーを組み込みました。

ちなみに、ローマは息子と二人だけ。スペイン・バルセロナは兵庫県建築設計監理協会会員・渥美氏夫妻との4人。ガイドなしのきままな旅行です。

息子は成人してから初めての海外旅行。さまざまな建築誌や旅行誌の資料を取りそろえて、彼から見たい建物の提案があり、旅行前は何度も見学ルートの論議を重ねました。したがって、今回のオプションツアーに関しては彼の意見を概ね反映したコース設定とし、バルセロナの建物内部見学の予約も全て彼に一任しておりました。

私はジョギングが趣味なので、旅行の際は国内外を問わず必ず旅先でジョギングをいたしますが、今回も現地での早朝のジョギングを楽しみにしておりました。ただ、ローマとスペイン移動日は移動時間の関係上時間の余裕がなく、フィレンツェ滞在中のみのジョギングとなりました。

2日目(9月26日)、早朝息子と二人でアルノ川沿いに約30~40分のジョギング。地元のジョガー達ともすれ違いざまに“ボンジョルノ”と声掛けし、気持ちはすでにイタリア人。

フィレンツェの町はすでに15世紀には今の原型が出来ており、多くの路地が馬車道の幅員しかなく、道路はほぼ石畳です。少々走りづらいですが、川沿いの建物は色彩と形の調和が取れとても美しく、建物を見ながら心地よく走ることができました。

午前中は旧市街の伝統工芸の工房巡り。熟練の職人たちの美しいデザインの皮製品や金属加工等の工房を訪れました。ここには廉価で素敵な日用品にあふれ、気に入った製品が数多くあり、早くも土産品をいっぱい買い込みました。

午後は、15世紀の大建築家ブルネレスキ設計の世界で一番美しいと評される『サント・スピリト教会』、同じくブルネレスキの設計でフィレンツェの象徴である『サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂』(ドゥオーモ)を見学しました。ちなみに他の建物は市の規定によりこの大聖堂の高さを超えることができないようです。

最後に巨大な『ウフィツィ美術館』を見学。ここには15世紀~18世紀の大富豪・メディチ家が政府に寄贈したコレクションが全て展示されており、「ピーナスの誕生」等数画集で見た多くの絵画が展示され、まともに見学するとまる1日かかりそうです。

3日目(9月27日)、建物見学と美術館巡り。早朝の恒例のジョギングをすませ、午前中はミケランジェロ設計の『メディチ家礼拝堂』を見学。その後『ラウレンツィアーナ図書館』、『サン・ロレンツォ教会』、ミケランジェロ作の「ダヴィデ像」が展示されている『アカデミア美術館』を見学。息つく暇もありません。

午後はタクシーで移動し『ミケランジェロ広場』を訪れました。この広場はフィレンツェの中心地を一望できる高台にあり、広場から観るとほとんどの建物の外壁及び屋根の色が統一されており、まるでおとぎの国のようなロケーションを楽しみました。

その後『バルジェロ国立美術館』、ブルネレスキ設計の『捨て子養育院』、華やかなファサードのメディチ家の宮殿『ヴェッキオ宮殿』と続けさまで見学し、最後に息子と二人で、『サンタ・クローチェ教会』を見学、まさに美術好き、建築好き人間にとってはたまらない至極の1日となりました。

イタリア・フィレンツェ



“早朝のジョギング”



“ミケランジェロ広場から市内を臨む”



“路上の画家”

4日目(9月28日)、いよいよ息子と二人だけのローマへの旅です。なにぶん初めての二人だけのヨーロッパであり、少々不安です。

朝10時頃ローマに到着。それから地下鉄でコロッセオ駅まで移動しましたが、切符の買い方からの勉強でドキドキものです。最初の見学地『コロッセオ』は古代ローマの円形競技場で、一度火災を受けておりますが、3層のアーチ壁面をドリス式、イオニア式、コリント式の柱頭で飾られ圧巻の迫力でした。それから徒歩で古代ローマの公共建物群のある『フォロ・ロマーノ』を遠目に見ながら、オードリー・ヘプバーン主演の映画「ローマの休日」のシーンにも出てくる『サンタ・マリア・イン・コスメディン教会』の一角にある石の彫刻『真実の口』(うそつきが口に手を入れると食べられて抜けなくなるという言い伝えがある。)を訪れました。

さらに徒歩で『ヴェネツィア広場』を通過しました。ローマの街は庶民的なフィレンツェとは趣が違い道路も広く建物も迫力があり、とても美しくゴージャスな街並みです。

次に古代ローマの建築の中で最も荘厳かつ完璧な状態で残る円堂『パンテオン』に向かいました。場所を探すのにとても苦労しましたが、何度も地元の人に尋ねながらなんとかとたどりつくことができました。建物頂部の9mの円の開口は圧巻で当時としては驚嘆に値する技術力です。

その後『トレビの泉』に移動。背後の『ポーリ宮殿』の前にバロック時代に設計競技で人口的に造られた岩石の噴水を組み合わせてあり、観光客が必ず訪ずれる場所です。

後ろ向きにコインを投げたら願いが叶うという言い伝えがあり、池の水がとても透明感があり感動的でした。

最後に『スペイン広場』に向かいました。138段の階段により、『サンタ・トリニタ聖堂』、『スペイン広場』、『バルカッチャの泉』が有機的に繋がり、都市のランドマーク的役割を果たしており、すごく開放的な空間です。映画「ローマの休日」のシーンにも出てきますが、若き日のオードリー・ヘプバーン演じるアン王女に会いたい気分になりました。

ひととおり本日の見学予定を終了し、地下鉄で『ローマ・テルミニ駅』に移動。

駅正面のコンコースは1947年に設計競技で実現した部分で、ヴィットリオ・デ・シーカ監督の映画「終着駅」で一躍有名になりましたが、古風さと斬新さを兼ね備えたとても印象に残る駅でした。

フィレンツェでの仲間との夕食の開始時間に間に合わせるため、午後6時前に駅を出発しましたが、予想していたとは言い時間的余裕がなく、駆け足のやや消化不良の旅となったのが残念です。ただ私の写真撮影の構図のまずさを「建築家らしからぬ」と息子に指摘され反論したり、見学ルートを間違え右往左往したり“親子ならではの珍道中”。楽しい一日でした。

イタリア・ローマ



“コロッセオ”



“バンテオン”



“真実の口”



“スペイン広場”



“トレヴィの泉”

5日目(9月29日)、早朝の飛行機でスペイン・バルセロナに渥美夫妻と4人で向かいました。

午後1時にアントニオ・ガウディ設計の『サグラダ・ファミリア聖堂』のエレベーターでの展望台見学を予約しておりましたので、ホテルにチェックインしてから、すぐに移動しました。

初めに聖堂の外周を一通り見学してから展望台へと移ります。外観は写真で何度も見ておりましたが、実物は想像以上に迫力があり、人が神を敬いそれを何かの形にしようとし、着工より135年の間、途方もない歳月を費やしてきた“エネルギー”がひしひしと伝わってきます。

またファサード部分のイエス・キリストの生誕の物語の彫刻も圧巻です。ちなみに2026年竣工予定のようですが、現在建設中の塔は工期を急ぐ都合により、PC版施工と思われ、手造り感がなくなりつつある印象は否めません。

予定どおり建物の中程部分までエレベーターで上がり、建物の施工状況を堪能できました。

聖堂内部は壮大で荘厳な空間。樹木のような飾り柱の光とスタンドグラスから降り注ぐ、美しい光。まさに“神秘の森”であり、身震いのするような空間でした。

この神秘的な建物の中で、そそっかしい私ならではのハプニングが起きました。

見学用エレベーターに乗ろうとした時、係員にあと2名と言われました。同行の4名が同じエレベーターに乗るのが良いと思いホール下に戻ろうとした際、足元確認を怠り、ホールの奥行きが狭くいきなり階段。足を踏み外しかけ、危うく1m下にダイビングしそうになりました。慌ててサイドの階段に持ち前の瞬発力？でしがみつきましたが、その際手摺に脇腹を強打しました。かなりの激痛だったため、肋骨にヒビが入ったかも知れないなと感じました。

後日談ですが、帰国後すぐに病院に行ったところ、やはり左わき腹の肋骨骨折で全治2カ月間の診断を受けました。

痛恨の事故でしたが、残りの旅行中はベッドでの寝返り時や体をかがめた時の激痛以外は速く歩くことが出来ない程度で、スペイン同行者以外はさほどみんなに迷惑をかけなかったのは不幸中の幸いでした。

ここからの見学予定の建物群は概ねメイン通り「ランプラス通り」に面しており、徒歩での移動になります。次にガウディ設計の共同住宅『カサ・ミラ』、建築家・伊藤豊雄がファサードを改修した『スイーツアベニュー』見学の後、ガウディ設計『カサ・バトリョ』の内部を見学しました。住宅の改修建物ですが、ファサードは海面のように波打ち、壁の色ガラスは海面に光が反射しているように輝く。建具および建具金物一つにもさまざまな意匠や生活の工夫が施され、そのディテールに驚嘆するしかありません。

次にリチャードマイヤー設計の『バルセロナ現代美術館』を訪れました。まさに“白の巨匠”と呼ばれるに相応しい建物で、白の芸術を実感でき造形的にはアンバランスの妙を感じさせるファサードでした。

スペインはイタリアと違い、古風な建物と近代的な建物が融合しておりますが、特に違和感はありません。

スペイン・バルセロナ



“カサ・ミラ”



“サグラダ・ファミリア聖堂”



“カサ・バトリョ”



“グエル邸ホール天井”



“バルセロナ現代美術館”



本場のフラメンコ観賞”

本日のガウディ巡礼の最後は“グエル邸”です。この建物も予約しており内部を見学することができました。パトロンであるグエルのためにガウディが力を尽くした作品ですが、きらびやかさを追求する為に心を割いた作品であることが随所に表現され、各部屋共豪華な仕上げのオンパレードでした。

これで本日の建物巡礼終了。一度ホテルに帰り少し休憩。夜はバルセロナで一番有名なフラメンコの店『タブラオ・フラメンコ・コルドベス』にて、本場のフラメンコを堪能し、最後にライトアップされた『サグラダ・ファミリア聖堂』を再度見学。脇腹の痛みに耐えつつあわただしい一日を終えました。

6日目(9月30日)、フィレンツェ直行便の都合上、バルセロナ空港を午後1時30分に出発する必要があり、建物見物は午前中のみ。ここからは渥美夫妻と別行動。早朝に息子と二人で、フランスの建築家ジャン・ヌーヴェル設計の“つくしの頭”のようなデザインの光輝く高層ビル『トーレ・アグバル』の外観のみを見学後、午前9時予約の『グエル公園』に移動しました。

『グエル公園』の随所に存在する数々のシンボリックな意匠と、その童話的・前衛的なデザインはまさに現在のテーマパークに相応しく、特に展望台周囲に設置したトレンカディス(破碎タイル)の波打った長いベンチはガウディならではの仕掛けがあり、元々は分譲住宅地の一部だったようですが、まるで観光客でごった返す現在の状況を100年以上も前にすでに見透かしていたかのようです。

『グエル公園』を後にし、最後の見学地『ミース・ファン・デル・ローエ記念館』に息子と二人で向かいました。記念館はシンプルなものにも研ぎ澄まされたしつらえの内部空間。

外部は軽さとシャープさが融合したモダニズムの巨匠ならではのフォルム。人口池との調和が見事であり、この地を訪れることができた喜びを感じ取れる建物でした。

私は脇腹痛のため、建物見学はここまでが限界。息子は近くの磯崎新がエントランスを改修設計した、『カイシャ・フォルム美術館』を見学に行きました。その後空港へと向かい渥美夫妻と落合いました。

予定通りの見学地をほぼ時間通りにこなせたバルセロナの旅でした。

7日目(10月1日)、フィレンツェ滞在最後の日、さすがにジョギングは取りやめ。午前中はピサ市へ列車での日帰り研修。有名な『ピサの斜塔』を含む『ドゥオーモ』、『洗礼堂』の見学。午後はフィレンツェに戻り、買い残したお土産の買い物に時間を割きました。

以上今回の旅行記を思いつくまま時系列的にしたためました。

申し込み時は9日間も連続で休めるかどうか不安でしたが、今後の設計活動のスキルアップに繋がるとても有意義な旅行となりました。最後に建築会・兵庫県建築設計監理協会両会会長として旅行を盛り上げていただいた瀬戸本会長、今回の旅行のためにきめ細かな計画を立てていただいた、石田研修委員長に感謝申し上げます。ありがとうございました。

イタリア・ピサ

スペイン・バルセロナ



“ミース・ファン・デル・ローエ記念館”



“グエル公園”



“ピサの斜塔”



フォトコンテスト

広報部

フォトコンテストも第4回を開催することができました。

そして今年度はカメラ講習会も開催しました。皆さん熱心に受講されスキルは格段に上がったのではないのでしょうか！

今回は例年以上の応募をいただきました。どの作品も素晴らしいものです。

また次年度もカメラ講習会を開催する予定です。今回参加された方、そして写真に興味ある方はぜひご参加ください。皆様の写真に対する興味そして技術が益々高まっていれば幸いです。

審査は今年も当会の賛助会員でもある大阪ガス(株)法人第2営業部兵庫営業チームの平井保夫氏にお忙しい中、審査をしていただきました。深く感謝を申し上げます。

■フォトコンテスト結果は以下のとおり

★最優秀賞 ……	株式会社 東洋工業一級建築士事務所	稲垣 謙一
★優 秀 賞 ……	徹建築設計事務所	岡田 徹
	株式会社 創建設計事務所	佐川 圭
	ツムギ住研株式会社 一級建築士事務所	川崎 史
	株式会社 APEX設計	中土井亮太
★入 選 ……	株式会社 黒田建築設計事務所	石田 邦夫
	一級建築士事務所 プラマ190	竹中 郁雄
	株式会社 ジョインウッド一級建築士事務所	波多野隆之
	株式会社 アーキノヴァ設計工房	柏本 保
	株式会社 APEX設計	渥美 充広

《審査・講評を終えて》

今年度は昨年を大きく上回るご応募をいただき誠にありがとうございます。今年度も審査員をさせていただくことができますこと非常に光栄です。

さて、今回は講習会を事前に行った効果があったように思いますが、作品のレベルがぐっとアップしており、講習会を開催してよかったと思います。そのため、いずれの作品も甲乙つけがたく審査に大変苦慮しました。何より、作品作りという観点で撮影されたことが伝わってきます。

今年度の講習会、フォトコンテストをきっかけに、お一人でも写真が好きな方が増え、スキルがアップすることで、お仕事、プライベート両面で役立つことを願ってやみません。 (審査員 平井 保夫)

★★★★ 最優秀賞 ★★★★★

題名『ボールリース』(稲垣 謙一)

《撮影主旨》『もうすぐXmas』を森の中で発見。

《講評》最優秀賞おめでとうございます。選考理由は、構図が定番とも言えるべき3分割法の配置、ボケを生かすための絞りの選択、プリントの丁寧さ、シャープなピントなど全ての面で丁寧に撮影されていることです。また、季節がよくわかる被写体を選んでいることもポイントです。ぱっと見て秋の森の美しさが伝わってきて心が安らぎます。今回の応募の中では最も完成度が高く文句なしの最優秀賞とさせていただきます。



★★ 優秀賞 ★★



題名『本場のちょい悪オヤジ』(佐川 圭)

《撮影主旨》フィレンツェの街を散策していると、何やら大きな声が見上げると 本場のちょい悪オヤジが電話していました。でもなんだかカッコいい。

《講評》撮影者の絵心といえますかセンスを感じさせるお洒落な作品です。こんなオヤジさんに憧れます。オヤジさんの額と壁の色がマッチしていてイタリアの建物と上品な生活観みたいなものを感じます。チラッと青空が見えるのも効果的です。私もイタリアに行きたくなってきました。



題名『夜明け前』(岡田 徹)

《撮影主旨》手前は神戸の街明かり その向こうは大阪湾越しの金剛山と葛城山 オレンジに染まった夜明け前 上部には上弦の月と明けの明星

《講評》今回、最優秀賞にするかどうか最後まで迷った作品です。夜明けの神戸の夜景と日の出前で山並みの向こう側が明るくなっている。夜明けであることが一目でわかります。まだ暗い空には月を配置して惜しい構図です。絵画的でもあり部屋に飾りたくなる作品です。

優秀賞としたのは、撮影時のカメラの向きもあると思いますが、ほんの少し右側が下がっているように感じると、デジタル写真をプリントアウトする際、やむをえないのですが空のグラデュエーションが滑らかなにはならず段階的に変化している点です。



題名『清水寺本堂の素屋根』(川崎 史)

《撮影主旨》清水寺のライトアップにて撮影しました。夜景モードで撮りませんでしたので、少し幻想的な雰囲気してみました。

《講評》この作品は、冬の清水寺という被写体を選んだ時点で決まったように思います。審査員も狙っていたシチュエーションですが、冬で夜で京都で観客も多くいろいろと手間がかかる撮影状況です。完全にモノクロにせず青みを少し残したのも冬の京都の寒さを感じさせます。人出が多いので三脚を使うわけにも行かなかったでしょうが、逆にカメラがISO感度を上げたことが、解像度を下げ粒子を荒くすることになり、全体の雰囲気アップさせています。撮影場所もいい位置選んでいます。観客が詰めかけている状況もきっちり写しこまれています。

題名『誇示』(中土井 亮太)

《撮影主旨》今から入ろうとしている建物。見あげると、堂々と佇み日本一の高さのビルであることを誇示しているかのようだった。

《講評》都市空間を上手く切り取った写真です。日本一高いビルを撮影するのに、メインの被写体のビルだけでなく、延々と続く手前の通路の屋根も入れ込んだところに撮影者のセンスを感じます。写真の隅々まで使っていることが良くわかります。ビルと周辺の無機質な感じがいいと思います。



★ 入賞 ★



題名『小さな家』(石田 邦夫)

《撮影主旨》野原にポツンと建つ小さな白い家に詩を感じました

《講評》アメリカの古いテレビドラマだったでしょうか大草原の小さな家というのを思い出しました。空を大きくとることで雄大な景色が表現されています。少々残念だったのは、使った用紙とプリントの質、そしてどうしようもないことですが、天気が良いすぎました。雲が少し浮かんでいれぼと思いますし、人物や動物が坂にいれぼと思います。この作品の撮影者の感性は素晴らしいですし、写真の出来ももっといいはずですよ。

題名『灯り』(波多野 隆之)

《撮影主旨》過去から現在への灯りなのか、現在から未来への灯りなのか、一本の道筋に対して、『他にもあるのでは?』と誘うような灯り。人を惑わせるような灯りでした。平城宮跡、復元された大極殿。

《講評》敢えて困難な夜景の撮影に臨んでいただきました。三脚が使われたのかぶれもなく、無数の灯りが平和への祈りを感じさせます。この作品は丁寧に撮影された美しい写真です。バックを真っ黒に仕上げるのだけではちょっともったいないような気がします。少し重たい印象になりました。もう少し早い時間帯、夕暮れ前後で空の青さが残っている時の写真も見たいと思います。





題名『光の洪水を浴びた
“サグラダファミリア聖堂”の内部空間』(柏本 保)

《撮影主旨》スペイン・バルセロナのガウディ設計の“サグラダファミリア聖堂”のステンドグラスによる光の洪水を浴び、壁、柱、天井が鮮やかに色づいた内部空間である。あまりにも美しく驚嘆するしかありません。

《講評》撮影した場所は創造するだけでも、光が洪水のように差し込んでいるのがわかります。観る人の想像力を掻き立てます。誰もが見たいと思うのではないのでしょうか？

ただ、題名は写真の説明ではありませんので、題名で少し損をしています。シンプルに光の洪水でよかったですと思います。



題名『羽ばたけ！』(竹中 郁雄)

《撮影主旨》阪神・淡路大震災から復興した神戸から東日本大震災や熊本地震などの被災地への鎮魂、復興、再生の象徴とした世界一のクリスマスツリーに向かって、朝日を背に未来に向けた希望の羽ばたきを日本中のみならず世界中へ発信します。

《講評》この作品のいいところは、撮影の時間帯と構図とシャッタースピード。鳩でしょうか？羽ばたく鳥の翼がぶれてなんともいい躍動感を感じます。表現にマッチしたシャッタースピード選択の妙です。シャッターチャンスを見逃さず、構図をまとめているところはさすがです。クリスマスツリーのイルミネーションが点灯されていれば、もっと印象が変わったかもしれません。



題名『地中海から舞い降りた天使』(渥美 充広)

《撮影主旨》イタリア サンジョルジョ城で結婚式を待つプリンセス。お城の中に差し込む光の中、希望に満ちた花嫁の美しさにシャッターを切りました。

《講評》ヨーロッパらしい建物の中でウエディングドレスを着た若い女性がドレスをなおしているのでしょうか？素敵なシャッターチャンスをものにした作品です。希望に満ちた花嫁の美しさに感動されたということですが、花嫁の顔が暗くなったのが少し残念です。

応募作品



題名『裏道』(石田 邦夫)

《撮影主旨》向こうからポッティチェリが、レオナルドが、そしてミケランジェロが歩いてきそうな気がするフィレンツェの裏道



題名『足湯でほっこり』(安藤 昇)

《撮影主旨》おひさまで、からだをぬくめ。お湯で、足も十分ほぐれたぞ。さあもう一息、頑張るぞ！



題名『魂よ！天まで届け』
(安藤 昇)

《撮影主旨》真っ青な天空に突き刺さるモニュメント。ひとを導く通路。厳かさを感じました。



題名『サン・ジミニャーノのイノシシ』
(瀬戸本 淳)

《撮影主旨》サン・ジミニャーノ歴史地区(ユネスコ世界遺産)は、人口8,000人ぐらいの、美しい塔が並んでいるかわいい街です。フィレンツェから日帰りで行けます。この名物料理はイノシシで、イノシシ肉のハムやサラミもあります。私、イノシシ年なので思わずシャッターを押しました。



題名『銀閣寺』(川崎 史)

《撮影主旨》冬支度前の銀閣寺 落ち着いた雰囲気の中に存在感が感じられました。



題名『祈り』(波多野 隆之)

《撮影主旨》一生懸命、長い時間、二人そろってのお祈りの風景。何をお祈りしているのか、カラフルな「くくり猿」が見守っているようであり、応援しているようであり。八坂庚申堂の境内にて撮影。



題名『フィレンツェの朝』(瀬戸本 淳)

《撮影主旨》フィレンツェで7泊しました。フィレンツェ歴史地区(ユネスコ世界遺産)は、ヨーロッパ文化首都でもあります。ケーキやジャラートのお店、ドン・ニーノの開店準備中のかわいい写真です。



題名『アムステルダムの夜明け』
(前田 由利)

《撮影主旨》ふと一人で訪れたアムステルダムの町を、暗いうちから散歩していると、だんだんと夜が明けてきました。運河に浮かぶボートハウスも、運河沿いの家もまだ眠っています。町が動き出す前の静寂の中、鳥の鳴き声が響きます。



題名『何が見える?』
(竹中 郁雄)

《撮影主旨》開港150年を記念した世界一のクリスマスツリーを背景に、阪神・淡路大震災から20年目の2015年に「人のために力を尽くす」という市民の熱い想いを集めて生まれたメッセージ「BE KOBE」から未来の神戸が見えるかな?



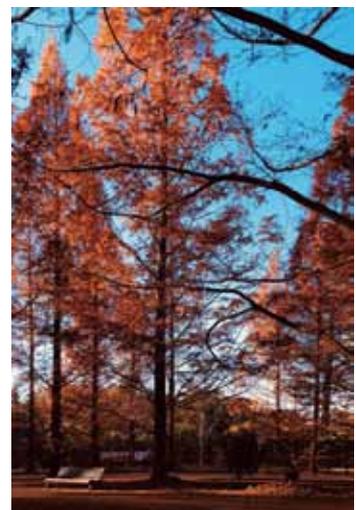
題名『朝の散歩』(佐川 圭)

《撮影主旨》ヴェッキオ橋に向かう歩道で見かけた、ちょっとミステリアスなマダムと犬の散歩風景。日常の何気ないこともすべてお洒落に感じました。



題名『ゴメンナサイ!』
(稲垣 謙一)

《撮影主旨》今回だけは犬にみえます。



題名『晩秋』(稲垣 謙一)

《撮影主旨》枯葉の絨毯にベンチ、夕暮れの青い空が美しかった。



題名『秋の雲』(岡田 徹)

《撮影主旨》藍色の空と羽毛のような雲 沈みかけた太陽 高速バスの後部座席から窓越しに逆光で撮影しました。



題名『江井島海岸の月』(岡田 俊彦)

《撮影主旨》夜の江井島海岸、月光の海面に映る様子を「明石浦～影たみ置く」と万葉に歌われたシーンをイメージして狙ってみました



題名『江井島海岸の夜』(岡田 俊彦)

《撮影主旨》夜の江井島海岸、月光、遠くに光る明石海峡大橋の光、道路を走る車のライト 海辺の風景を光が構成するシーンを狙ってみました



題名『Who do you think I am ? (俺を誰やと思うとんネン!)』(北村 憲司)

《撮影主旨》とあるタイルミュージアムでの一場面。



題名『花卉の雫』(北村 憲司)

《撮影主旨》小雨の中初めて見たかわいい花に乗った雨粒の美しさを記録できたな…との思いで撮影しました。



題名『バスの車窓から観た“千里浜なぎさドライブウェイ”』(柏本 保)

《撮影主旨》日本で唯一、一般の自動車やバスでも海岸線の砂浜の波打ち際まで走ることができる道路である。金沢研修旅行の際に通過しましたが、日本海の荒波を見ながらのドライブは快適な体験であり、思わずバスの正面ウインド越しに撮影しました。



題名『こえのぬし』(中土井 亮太)

《撮影主旨》藪の中、声の主をさがした。そして見つけた。



題名『佇む月』(長川 裕)

《撮影主旨》ライトアップにされた木々に目が行きがちでしたがふと空を見上げた時のひっそり佇む月に惹かれました。



題名『千里浜海岸にて』(前田 信行)

《撮影主旨》支部一泊研修にて訪れた千里浜海岸。バスの車窓から手を伸ばし砂浜を疾走する様子を撮影しました。



題名『丸山公園(灘区)の朝』(前田 信行)

《撮影主旨》丸山公園(灘区)から見る朝日は散歩やジョギング中の足を止めてしまいます。今日も良い日になりますようにとの思いも込めて撮影しました。



題名『虹色の説教壇』(渥美 充広)

《撮影主旨》フィレンツェ サンタマリア・ノヴェッラ教会の説教壇にそそぐステンドグラスの光に思わずシャッター！

いざ!!
大地震!!

ドアが壊れた!!

出られない!!

なんとか脱出...でもドアが
閉まらない!!

鍵が掛けられず
**戸締り
できない!!**

※注 地震によりドア枠が歪んだドアは、脱出の際に一旦、開放してしまうと、もう完全に閉めることはできません。



ドアの内側と外側のドアノブをガッチリ結ぶ!!

ここに
PREPA

南京錠で、しっかり施錠!

被災住戸の空き巣被害対策の決定版

マンション
集合住宅

玄関ドア専用户締り金具

PREPA

ご発注
お問い合わせ

株式会社 北村鉄工所 06-6719-3031 (代)
HP. <http://www.taishin-hinge.com/> 大阪市東住吉区桑津4丁目12-22

三和の防水商品

ウォーターガード^{new}が水害からお客様を守ります

浸水高さ
最大2mまで対応可能

ゲリラ豪雨や河川の氾濫、近年日本では都市型水害と呼ばれる都市特有の水害が多く発生しています。

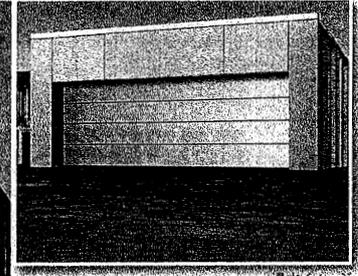
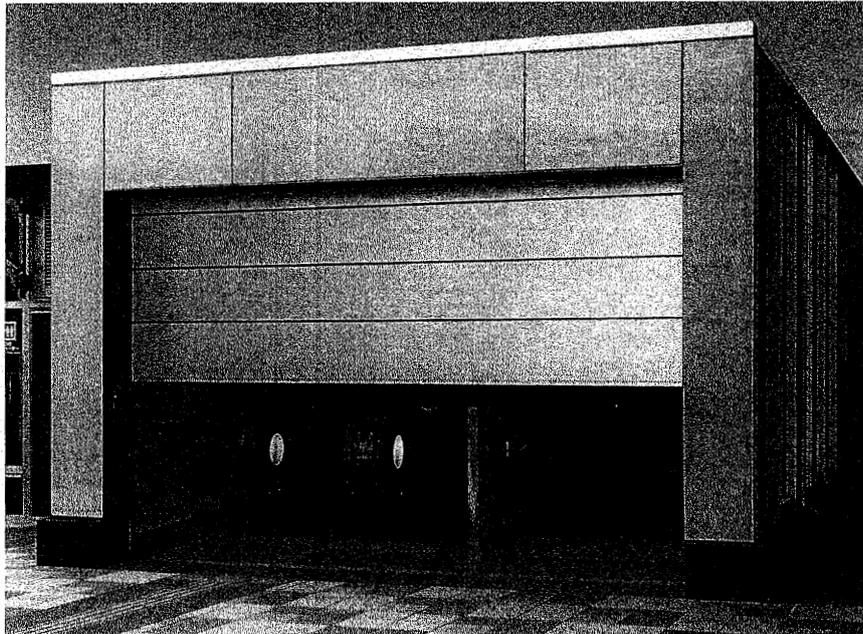
防水シャッター

特許出願中



防水機能がついた電動パネルシャッターです。
地下鉄や地下街の出入口に最適です。

- 浸水高さ最大2mまで対応可能です。
- 管理用シャッターとしても使用できます。



浸水イメージ

パネル仕様

- ◎材質：アルミ押出形材
- ◎仕上げ：陽極酸化皮膜（シルバー）+ クリア塗装
- ◎パネル厚：55mm
- ◎パネルピッチ：413mm
- ◎パネルセクション重量：約40kg/m

性能

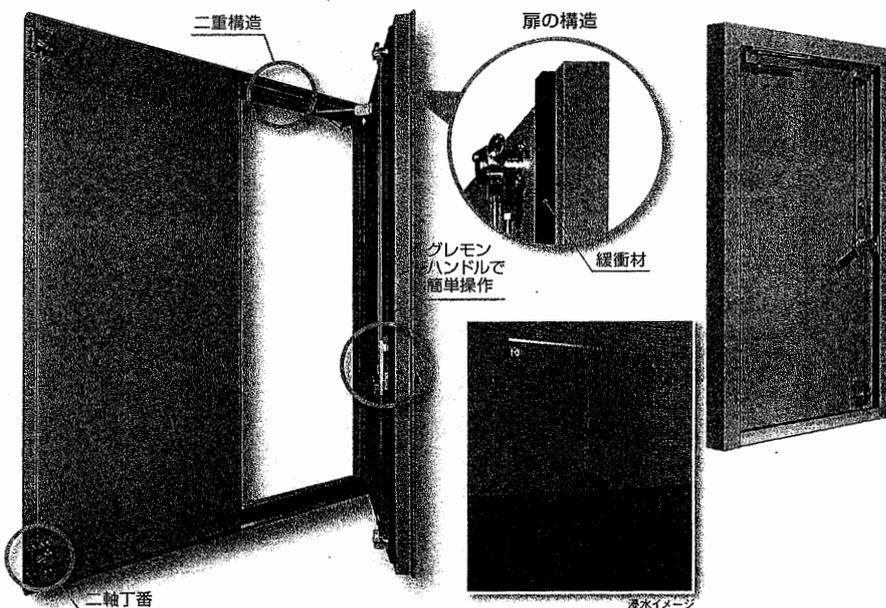
防水性：浸水高さ 2.0m以下
 漏水量 20ℓ/h・m以下
 【実験値】
 1.7ℓ/h・m
 （一般財団法人建材試験センターの性能評価試験による）

ダブルタイトドア

特許出願中

設備室や機械室の出入口に最適です。

- 防水性・気密性・水密性を備えた二重構造の防水ドアです。
- 浸水高さ最大2mまで対応可能です。
- 社員通用口などの通用扉としても使用できます。^(注)



基本仕様

構成部材

扉：スチール 1.6mm
 （ステンレス 1.5mm）

枠：スチール 2.3mm
 （ステンレス 2.0mm）

扉重量：約300kg
 （W900mm×H2100mm）

設計範囲（浸水高さ2.0m対応）

片開き
 W750～1250mm×H1800～3000mm

両開き
 W2500mm以下×H3000mm以下

※親子開きも可能。その他、サイズについてはお問い合わせください。

性能

防水性：浸水高さ 2.0m以下
 漏水量 20ℓ/h・m以下
 【実験値】
 片開き 0.2ℓ/h・m
 両開き 7.5ℓ/h・m
 （一般財団法人建材試験センターの性能評価試験による）

気密性：A-4等級
 水密性：WV-5等級
 （下水道施設標準図 防水型建具仕様 に準ずる）



RENEWAL 姫路 230戸



RENEWAL 放出 270戸

資産価値を守る大規模修繕工事



国土交通大臣許可(特-27)第14858号

関西塗研工業株式会社

本社 大阪市福島区海老江8丁目8番7号
〒553-0001 TEL(06)6454-1271(代)

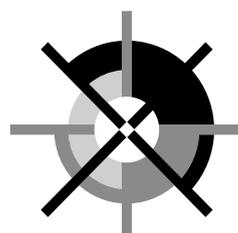
FAX(06)6454-1672

神戸営業所 神戸市中央区神仙寺通4丁目6番14号
e-mail : info@kansaitoken.co.jp
http://www.kansaitoken.co.jp



FS556255/ ISO9001:2008

ISO認証 9001:2008/ JIS Q 9001:2008 認証取得
(鋼構造物大規模改修工事部門)



DAIWA
SENPAKU
TOCHI



6年連続 16作品受賞

大和船舶土地株式会社

〒651-0088 神戸市中央区小野柄通3-1-15 鈴木ビル5F T.078-232-3131

<http://www.daiwasenpaku.co.jp>

本年度グッドデザイン賞受賞作品

Belltree 御幸通 (2016年9月竣工)

設計・監理

大和船舶土地(株)一級建築士事務所

有限会社 ランドサット一級建築士事務所

施工

まこと建設株式会社

お問い合わせ：(有)大和建物管理 担当：下須賀 078-232-7070

給湯暖房機を、**マイホーム発電「エネファームtype S」**に、
お取替えいただくと、**余剰電力を売電でき、経済性がアップ!!**

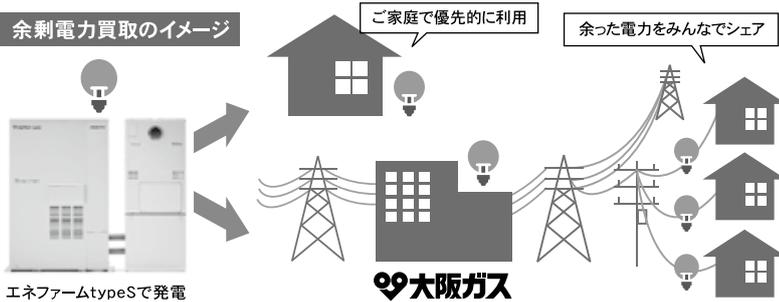
エネファームは日本で初めて、
燃料電池を生かした余剰電力買取

余った電気をおトクにシェア。
エネシェア

エネファームtype Sで発電した余剰電力を売電

2016年4月からの電力自由化に合わせ、大阪ガスでは余剰電力の買取をスタート。
エネファームtypeSで発電した電力のうち、ご家庭で使われなかった電気を売ることができます。

余剰電力買取のイメージ



エネファームtypeSで発電

大阪ガス



家庭用燃料電池コージェネレーションシステム
ENE・FARM
エネファーム
type S

CO₂排出量
約52%削減

エネファームを設置されたお客さまは
「大阪ガスの電気家庭用ガス発電プラン」
適用で電気代がさらにおトクになります!

お問い合わせ

大阪ガス(株) 法人第2営業部
兵庫営業チーム

TEL **078-360-3024**

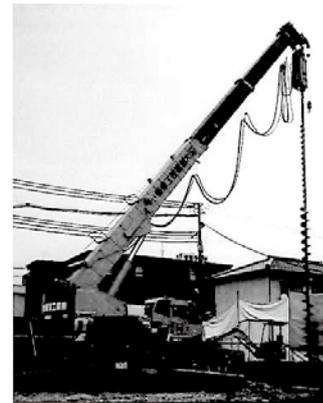
担当
平井

建物の礎を、創造し、形にする会社

大創建設工業株式会社

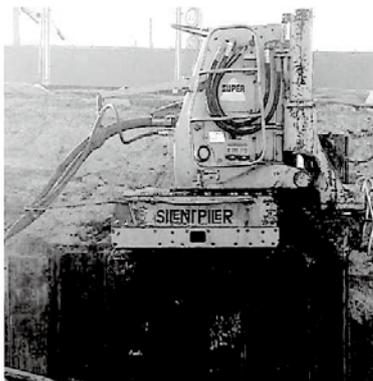
〒650-0015 神戸市中央区多聞通3丁目3番7号
TEL (078) 371-0325 FAX (078) 341-6015

E-mail: daisou@arion.ocn.ne.jp



営業品目

- ・各種土留工事の設計及び施工
連続地中壁、H形鋼打抜、鋼矢板打抜
山留支保工・仮設棧橋の架設、アンカー工、霧液注入工
ダウンザホールハンマ、大口径ポーリング工法 (BH)
- ・既製コンクリート杭・場所打ち杭・鋼管杭の設計及び施工
- ・既存杭の引抜・破碎工事
- ・深礎混合処理工 (柱状地盤改良工事)
- ・一般土木請負工事他



KMEW

SOLIDO typeF coffee
ソリド タイプF コーヒー
素材で魅せる内装ボード。

塗装による着色をせず、セメント素材だけが持つ自然な風合いの内装ボード。
セメント素材独特の白華(エフロレッセンス)と使用済みコーヒー豆により、
1枚1枚異なる温かみを感じる素材を作り上げました。

施工例や納まり図、カタログ・サンプルのご請求はウェブサイトをご覧ください。
<http://www.kmew.co.jp/shouhin/solido/>

ケイミュー株式会社 [神戸営業所] 〒650-0031 神戸市中央区東町 126 神戸シルクセンタービル 8F TEL.078-333-1048



SOLIDO
typeF coffee
リサイクル内装ボード



GOOD DESIGN AWARD 2016
BEST 100



入会のご案内

当協会では随時、正会員・賛助会員を募集しております。
入会に関する質問は、メール・FAX・電話にてお問い合わせ下さい。

会員の種別

正会員… 建築士法により兵庫県下において建築士事務所を開設し事務所登録をした開設者の方。

会費	54,000円/年	入会金	50,000円
----	-----------	-----	---------

賛助会員… 本会の目的に賛同する正会員以外の個人または法人を会員とします。

会費	50,000円/年	入会金	入会金なし
----	-----------	-----	-------

※上記会費・入会金の他に、各支部の規定により若干の支部費を納めて頂くことがあります。

入会の手続き

入会は、入会申込書を支部に郵送してください。到着次第連絡いたします。

入会申込書の提出

申込書にご記入の上、
原則、会員になろうとする
事務所の所在地がある
支部へご提出ください。

入会手続き

提出いただいた
入会申込書は支部を経由し
本部理事会にて正式承認と
なります。

入会手続き完了

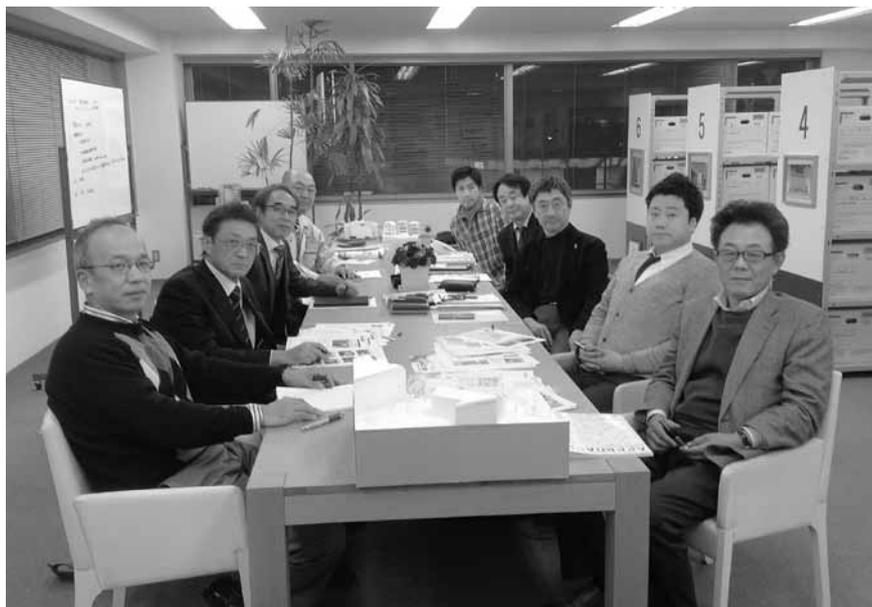
入会手続き完了後、
①会員の章 ②会員名簿
③建築設計関係業務報酬表
④広報誌「くすのき」
⑤日事連会報月刊「日事連」
⑥会員証 を随時発行いたします。

■アプローチ48号投稿のお願い

本誌面を通じ会員の交流や意見、研究等の発表の場として活用して戴きたく、会員・賛助会様には、内容については自由ですのでたくさんのご投稿をお待ちしております。

投稿先

〒651-0088 神戸市中央区小野柄通3-1-15 鈴木ビル
大和船舶土地株式会社 鈴木祐一
TEL.078-232-3131/FAX078-232-3226
<http://www.daiwasenpaku.co.jp>



編集後記

2017年も残り少なくなりました。

今年は指標の上では好景気が続き、都市部の不動産市況が上昇しバブル期を超えたといわれる中で、建築業界では建設物価の高騰、人手不足と大変な一年でした。来る2018年は穏やかで充実した一年となるよう期待したいです。

さて、皆様のご理解・ご協力のおかげで、今年度も神戸支部広報誌「アプローチNo.47」が無事発行されます。充実した内容とするべく、広報部一同ガンバリましたのでぜひご一読下さい。

忙しい中たくさんのご投稿をいただきました、会員、関係者の皆様には、改めて深く感謝申し上げます。

■編集 一般社団法人兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
広報部 担当副支部長 成瀬 秀一
広報部長 鈴木 祐一
広報副部長 佐川 圭
スタッフ 藤木 宏互
三宅 正浩
寶谷 勝馬
前田 實夫
賛助会 三和シャッター工業㈱ 谷本 修
大創建設工業㈱ 浅井 嗣也
関西塗研工業㈱ 藤田 秀人

■発行 一般社団法人兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
〒650-0003
神戸市中央区山本通2-4-24
リラズゲート 1-5A
㈱アーキノヴァ設計工房
TEL 078-222-3231
FAX 078-222-9980
URL <http://www.kobe-aaf.org/>

■編集 集 デジタルグラフィック株式会社
神戸市中央区弁天町1番1号
TEL 078-371-7000
FAX 078-371-7001

